

港区  
地域こぞって  
子育て  
懇談会

みんなで聞こう  
いっしょに話そう

つながりの輪を  
ひろげたいなあ

よりよい人と人のつながりや交流のある地域にしたいと思っています。  
「つながりの輪をひろげるためにできること」を  
みなさんといっしょに聞いたり、話したりしてみたいです。

## 2008年度 報告書

主催／港区立子ども家庭支援センター  
明治学院大学社会学部附属研究所  
企画／みなと子育てネットWa.Wa.Wa  
協力／めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

# 港区地域こぞって子育て懇談会

みんなで聞こう・いっしょに話そう 『つながりの輪をひろげたいなあ』

2009年1月24日(土) 午後1時～3時30分

男女平等参画センター(リーブラ) 5階ホール

進行チーム：

みなと子育てネットWa.Wa.Wa 伊佐見節子・廣田千秋

めいがかくキッズ&ママ・パパ応援隊 浅野黎子

・・・・・・・・・・・・・・・・午後1時開会・・・・・・・・・・・・・・・・

オープニング クルポンスによる歌と演奏

開会あいさつ 港区子ども支援部子育て支援計画担当 課長：神田市郎より

その1 港区内の子育てグループ活動紹介

その2 「子育てにやさしい街への提案」取り組み状況報告と“次なる提案”

◇企画会議のディスカッション経過報告

◇子育てをささえる地域創り座談会報告(10月23日実施)

◇視察報告

・コミュニティカフェぶりっじ(世田谷区)

・おでかけひろば@あみーご(世田谷区)

・千代田区社会福祉協議会子育てサロン・フルーツエリア鶴  
(千代田区)

・ふれあいの家ーおばちゃんち(品川区)

◇“次なる提案”(寸劇とメッセージ)

・・・・・・・・・・・・・・・・午後1時45分頃ひとやすみ・・・・・・・・・・・・・・・・

その3 子育て支援関係機関のみなさんよりコメント「みなさん語って…」  
コメンテーター紹介(後掲)

その4 みんなで聞こう・いっしょに話そう(参加者によるラウンドミーティング)  
小さな人数のグループで丸く座り、意見や感想を交換します  
ラウンドミーティングまとめ

閉会あいさつ 明治学院大学社会学部附属研究所 所長：野沢慎司より

クロージング クルポンスによる歌と演奏

・・・・・・・・・・・・・・・・午後3時30分閉会・・・・・・・・・・・・・・・・

## 目 次

開催にあたり	2
港区立子ども家庭支援センター所長 川上真二	
ごあいさつ	3
港区子ども支援部子育て支援計画担当 課長 神田市郎	
明治学院大学社会学部付属研究所 所長 野沢慎司	
明治学院大学社会学部付属研究所 2008年度「港区地域こぞって子育て懇談会」までの経過	4
2006年度「港区地域こぞって子育て懇談会」の概要	7
2007年度「港区地域こぞって子育て懇談会」の概要	8
1. 「子育てにやさしい街への提案」取り組み状況報告と “次なる提案”	9
2008年度の取り組み	10
その1：市民講座「子育て支援は贅沢か？」を聞いて	12
その2：「子育てをささえる地域創り座談会」を開催	13
その3：子育てにやさしい店の基準って？こんなディスカッションをしました	14
その4：みなと子育てネットWa.Wa.Waから「地域子育て情報カフェPO PO PO」が誕生	15
その5：NEC協賛「子育てママのためのIT講習会」開催	15
その6：先進事例から学ぼう！～視察報告～	
◇ コミュニティカフェぶりっじ	16
◇ おでかけひろば@あみーご	17
◇ 千代田区社会福祉協議会子育てサロン・フルーツエリア 鶴	18
◇ ふれあいの家ーおばちゃんち	19
その7：「子育てにやさしい街への提案」実現に向けて “次なる提案”	20
2. 子育て支援関係機関のみなさんよりコメント「みなさん語って…」	23
3. 参加者によるラウンドミーティング～みんなで聞こう・いっしょに話そう～	27
・ラウンドミーティングの進め方	28
・さまざまな意見や感想	
●子育て中のみなさんより	28
●地域活動者・NPOのみなさんより	30
●子育て支援関係機関のみなさんより	31
●その他のみなさんより	33
・来年度の地域こぞって子育て懇談会に向けて	34
4. どんな人たちが参加してくれたのかしら？	35
5. 子育てグループの活動紹介（港区内）	39
6. スタッフ感想	53
所 感	56

# 開 催 に あ た り

# ご あ い さ つ

港区地域こそって子育て懇談会は、誰もが住みやすい地域創りに貢献するための活動をしている明治学院大学社会学部附属研究所と共催するとともに、懇談会の企画及び進行には、前回までの成果を生かしたいと意欲的に活動を続けている子育てグループネットワーク「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」のみなさんに、今年も主体的に関わっていただきました。

港区では、昨年、みなと子育て応援プラザPokkeやあっぴい台場・あっぴい麻布の子育てひろばを開設するなど、在宅で子育てをしている皆さんへの支援を充実させています。都心で子育てをするなかで孤立したり、核家族等の環境から子育てに対する不安を抱えたりすることのないように、このような施策は今後も充実させる必要があります。

しかし、子育ては24時間休みがありません。例えば、夜中に子どもが急に熱を出すこともあるでしょう。遊びに行った公園で怪我をしてしまうこともあるでしょう。そんなときに、隣近所や身近な地域に助けてくれる人がいたらどんなに心強いでしょう。また、助けてもらった経験がある人は、次は誰かを助ける勇気を持つこともできるかもしれません。



今回の懇談会には、そんな「つながり」を身近な地域で持つためのきっかけをちりばめてあります。さまざまな立場、年代の人がこの懇談会を機会に知り合い、地域に戻ってもつながることができるよう、積極的な参加をお願いします。今日お集まりのみなさんの「つながり」はもちろんのこと、地域での「つながり」の輪がより大きく、より太くなるように、区もみなさんと力を合わせていきたいと思えます。

港区立子ども家庭支援センター  
所長 川上 真二

## 開 会 あ い さ つ

こんにちは。区役所の子育て支援計画担当課長をしております神田です。よろしくお願ひします。きょうは、明治学院大学社会学部附属研究所の皆さんと共催で、この懇談会を開かせていただきました。そして、みなと子育てネットWa.Wa.Waの皆さんに、主体的に関わっていただき、この懇談会で皆さんの「つながり」がより多く太くなるようにと願っています。

港区では、在宅の子育ての応援ということで、今年に入り、麻布とお台場に、「子育てひろば」を作らせていただきました。芝5丁目には、みなと子育て応援プラザP o k k eという愛称の「子育てひろば」「一時預かり」「ショートステイ」「夜のお預かり(トワイライト)」ができる施設も完成し運営しています。一気に3つ作りましたが、まだまだかもしれません。

港区に最近たくさん若い家庭が、社会的流入というか、転入して来ていて、なかなか地域とのつながりがない中で、孤独に子育てをされている方が多いだろうと思います。

在宅の子育ての応援として、そういう方たちの仲間づくりにもなるように、それから気軽に子育ての相談ができるように、ということで、このような広場等を作っています。

保育園も足りなくて、今一所懸命作っていますが、在宅の子育ての応援もしっかりしていけないと、ということで頑張っています。

この懇談会で、地域別に席を割ってあったり、名札を付けているのは、知り合うきっかけができるようにという工夫ですので、きょうの懇談会を通じて、よりつながりを多く、そして太くなるように期待しています。

ご挨拶とさせていただきます。  
ありがとうございました。

港区子ども支援部子育て支援計画担当  
課長 神田市郎

## 閉 会 あ い さ つ

今年度から社会学部附属研究所に関わることになり、今回初めてこの懇談会に参加させていただきました。港区内の様々な主体がつながり、いわば地域社会が立ち上がってくる現場に立ち合わせていただいている(主催者がこんなことを言うのは変ですが)、そんな感じがしました。

「都心では地域社会が崩壊している」ことを当然の前提にして話が進むことがよくあります。昨日も、ある新聞社の記者さんと話をしていて、「地域社会が崩壊しているので今の子どもはきちんと育てていないと思うのですが…」と言うのを聞いて「ああ、またか」と思いました。

地域社会というのは昔ながらに自然にあるものであって、その形が変わってしまうと崩壊だと思われがちです。でも、こうやっていろいろな立場の人が集まって、新たに関係を作ることによって地域社会はつねに再生されます。地域は崩壊ではなくて進化しているのではないかと、その現場がここにあるのではないかと、そう感じました。

今年度は社会調査実習の授業の一環として、港区内で子育てについての調査を実施させていただきました。港区の多くの皆様に本当にお世話になりました。この場を借りて、御礼申し上げます。現在、調査結果を分析しているところですが、こうした調査研究などを含め、大学(明治学院大学社会学部附属研究所です!)と地域社会が協力しあえることがまだいろいろとあります。

きょうは、めいがかくキッズ&ママ・パパ応援隊の学生たちだけでなく、私の実習の学生たちも参加させていただきました。こんなことを言うては立場上よくないのですが、教室で勉強するよりも地域に出て行って様々なことに関わるほうが学ぶことがはるかに多いなと実感します。皆さんによって学生たちの学びが支えられていることがいろいろありますが、一方で学生たちが何か地域に貢献できることもあると思います。今後とも、この進化の道をさらに発展させられるよう、ご協力をお願いいたします。きょうは、どうもありがとうございました。

明治学院大学社会学部附属研究所  
所長 野沢慎司

… 明治学院大学社会学部附属研究所 …  
2008年度 港区地域こぞって子育て懇談会  
までの経過

● 明治学院大学社会学部附属研究所の特徴：

当所は、本学社会学部の研究の砦であると同時に、地域に開かれた相談機関としての機能を持ち、福祉相談活動（個人やセルフヘルプグループ、施設・NPO）や講座・研修活動（市民や社会福祉実践家向け）に取り組む研究所です。

● 2000年度～2004年度の活動：

2000年度より、地域の福祉課題解決のための土壌づくりをめざし、市民自らによるボランティアな活動を推進する目的で、市民講座を開催しています。

これまでにいくつかの市民講座を企画しながら、港区にはいったいどんなボランティアな活動があるのか、どんな魅力的な活動があるのかを手探りで探し、さまざまな活動をしている方々と出会ってきました。

● 2005年度～2006年度の活動＜その1＞：

この間に、港区内の子育て・子育て環境がもっとよくなるよう取り組みたいという活動者との出会いもあり、子育て相互支援活動に着目して、特に子育て中の当事者による活動グループの方たちとつながりをもとうと努力しました。

2005年度、それまでに出会えた皆さんと「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信～子育てをささえる地域創りとは～」という市民講座（後掲）をいっしょに企画しました(2006年3月)。

● 2005年度～2006年度の活動＜その2＞：

上記講座をとおして、子育てをささえる地域創りを模索する上での課題がみえてきました。さまざまな子育てグループとの出会いから、子育て相互支援活動グループの課題や要望も伝わってきました。

● 2005年度～2006年度の活動＜その3＞：

2006年度にはいり港区立子ども家庭支援センターより、「港区地域こぞって子育て懇談会」企画協働という提案が舞い込みました。子育てグループネットワークの活動者たちと共に取り組めるならば、子育て当事者ならではの想いやニーズを盛りこんだ企画を立てられるかもしれない。そんなもくろみをもちました。限られた時間でしたが、元気に手を挙げてくれた活動者たちと、互いに学びあいの場をもちながら、企画に臨みました。（2006年度港区地域こぞって子育て懇談会「みんなで聞こう・いっしょに話そう～子育てをささえる地域創りとは～」（後掲）2007年1月13日高輪地区・1月27日芝地区にて開催）

## ●2006年度～2007年度の活動：

港区内のいくつかの子育てグループ活動者たちは、グループ間をつなげていくネットワークをつくらうと動きだし、2006年度港区地域こぞって子育て懇談会において、「みなと子育てネットWa. Wa. Wa」の設立を表明しました。みなと子育てネットWa. Wa. Waは、2007年度に入り、「子育てグループをつなぎながら、必要な親子に情報を届けたり、子育て環境向上のためのイベントやアクションをしよう～」という目標のもと、活動を開始しました。当所も、みなと子育てネットWa. Wa. Waの活動の応援に重点をおきました。

## ●2007年度の活動：

2007年度みなと子育てネットWa. Wa. Waより、自分たちが掲げた活動目標達成のために、港区地域こぞって子育て懇談会の企画に主体的に関わりたいとの申し出がありました。みなと子育てネットWa. Wa. Waとして、「地域こぞって子育て懇談会プロジェクト」を立ちあげ、当所スタッフと当所が募集した学生ボランティア「第3期めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」メンバーと共に、2007年度港区地域こぞって子育て懇談会の企画立案に挑みました。（2007年度港区地域こぞって子育て懇談会「みんなで聞こう・いっしょに話そう～急募！子育てにやさしい店と街」（後掲）2008年1月26日芝浦港南地区にて開催）

## ●2008年度の活動：

2008年度もみなと子育てネットWa. Wa. Waと、「第4期めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」メンバーと共に、前年度の懇談会での3つの提案（後掲）について、その実現を模索する取り組みに参画しました。

## 子育てをささえる地域創り

さまざまな社会状況の中、たやすくないことがたくさんあります。でも、私たちの未来である「子どもたち」＝小さな「市民」を育てるしごと、その環境を創造するしごとに、微力ながら私たちもひきつづき携わっていきたいと考えます。皆さま今後共よろしく願いいたします。

明治学院大学社会学部附属研究所

## 2005年度市民講座

### 「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信 ～子育てをささえる地域創りとは～」開催

当所とすでにつながりのあったママたちと協議し、「子育て当事者の立場から地域に向かって発信しよう！」という講座の趣旨や方向性を打ち出した。地域の他のグループともつながりたい、との願いが共通していることもわかり、講座をきっかけに子育て中の人たちが取り組むグループとの出会いを求めた。

○港区内の子育てグループ活動紹介（9グループが参加）

○近隣品川の子育て相互支援活動に学ぶため、

「ふれあいの家ーおばちゃんち」の幾島事務局長による活動紹介

○都心での子育てを取り巻く現状やニーズを当事者の声として発信

\*本企画は、学生ボランティア「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」も交流しながら運営を支えた。

本講座は、都心の中での孤立しない子育て、それをささえる地域創りについて、当事者も支援者も地域の人々も一緒に考える、その第一歩の発信でした。講座を機に子育てグループのネットワークも築かれました。でも、講座には、パパをはじめ男性の参加が少なく、地域社会全体で子育てについて考えることのむずかしさ、課題も感じさせられました。

子育て相互支援活動の担い手たちは、グループ同士のつながりから、情報を共有し、交流も・・・そして、

**2006年度港区地域こぞって子育て懇談会企画の担い手へ**



# 2006年度港区地域こぞって子育て懇談会開催

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～子育てをささえる地域創りとは～

## 当日の内容

- 子どもたちと遊ぼうタイム～♪
- 港区内の子育てグループ活動紹介
- 子育てをささえる地域創りのためのラウンドミーティング



参加者の皆さんとのラウンドミーティングで、子育てをささえる地域創りのための「地訓」を皆で話し合い、考えました。

\*昔はどの家にもあった「家訓」ですが、地域の中で子どもたちを育てるために、親として大人として、こうあるべき&こうありたいね、という想いを「地訓」として、まとめました。

## 2006年度 地域こぞって子育て懇談会『地訓』

### 高輪地区10か条

- ・まずは一歩をふみだそう！！
- ・声かけでまわりに友達を。はじめの一歩
- ・顔をあげて笑顔であいさつ  
～チョコッと外に出てみませんか？～
- ・おせっかいでもいいから一声かけよう、  
何度でも（めげないで）
- ・どの子も我が子と思って（あいさつ、叱る）。  
どんどん出よう。
- ・子どもを中心に「わ・わ・わ・わ」
- ・自ら積極的に関わりあっていこう！
- ・家族みんなでイベントを！
- ・地域の行事って  
実はコミュニケーションの場なんだよね～
- ・「我が家は地域子育て隊」シールを提案！

### 芝地区11か条

- ・あいさつ一番のまちっ
- ・「あ」かるく「い」つも  
「さ」わやかに「つ」きあおう
- ・まずはあいさつ気楽に話そう、誰とでも。
- ・えがおであいさつを交わそう！  
子どもをまん中にあつまるまちづくり
- ・あいさつからつながろう
- ・笑顔あいさつ見守る地縁つながる場
- ・みんなで子育て身近なかかわりからはじめよう
- ・サラリーマンの街じゃない！  
親子が楽しめる街に変えよう！
- ・子育ては誰でもまきこみ迷惑かけちゃえっ！
- ・バリアフリー街も心もフレンドリー
- ・「アイラバー♡」でつながろう

## 2007年度港区地域こぞって子育て懇談会へ

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～急募！子育てにやさしい店と街～

# 2007年度港区地域こぞって子育て懇談会開催

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～急募！子育てにやさしい店と街～

## 当日の内容

### ○アンケート調査の報告

～ベイエリアのママ・パパたちに聞きました！～

「子育てで困ったこと」を寸劇でも発表しました。

### ○子育てにやさしい店と街へ！～私たちの3つの提案～

## (1) 子育てにやさしい店の基準づくり

「子どもと一緒に楽しくお出かけしたい！」

赤ちゃん対応設備はもちろん嬉しいですが、そのような設備はなくても、お店のウェルカムが感じられれば何度でも行きたい！そんなお店の入り口に『子連れOK』とわかるシールが貼ってあると便利です。でも、お店の方は子連れ客をどう思っているでしょう？利用側のマナーも合わせて、子育てにやさしい店についていっしょに考えたいと思いました。

## (2) 子連れで集える

### オープンスペース大募集！

お出かけの途中で一休み（授乳やオムツ交換、ママも水分補給）したり、ちょっとわからないこと（地域の子育て情報）などを聞いたりできるオープンスペースがあると便利です。地域の子育て支援スポットを貸してもらえたら、がんばって運営するパパやママ、おじちゃん・おばちゃん、地域で活動するグループはあると考え、地域のあきスペースを貸して

くださいませんか、、、  
と呼びかけました。

## (3) 子育てバギーキャラバンやりま～す！

小さな子どもと抱っこやバギーと一緒に出かけると、出会いや発見がたくさんあります。みんなで一緒に子連れで街歩きして、子連れOKのお店や遊び場を見つけたり、危険な場所がないかもウォッチングし、「子連れお出かけマップ」を作って、子育て情報を共有しましょうと呼びかけました。

## 『聞かせてほしい、みんなの意見』ラウンドミーティング

参加者に、3つの提案のいずれかのグループに分かれて入っていただき、意見交換しました。さまざまな意見が交わされました。

## 2008年度港区地域こぞって子育て懇談会へ

みんなで聞こう・いっしょに話そう

～つながりの輪をひろげたいなあ～

# 1



## 「子育てにやさしい街への提案」 取り組み状況報告と“次なる提案”

2008年度の取り組み .....	10
その1：市民講座「子育て支援は賛沢か？」を聞いて .....	12
その2：「子育てをささえる地域創り座談会」を開催 .....	13
その3：子育てにやさしい店の基準って？ こんなディスカッションをしました .....	14
その4：みなと子育てネットWa.Wa.Waから 「地域子育て情報カフェPO PO PO」が誕生 .....	15
その5：NEC協賛「子育てママのためのIT講習会」開催 .....	15
その6：先進事例から学ぼう！～視察報告～ .....	16
◇ コミュニティカフェぶりっじ	
◇ おでかけひろば@あみーご	
◇ 千代田区社会福祉協議会子育てサロン・フルーツエリア 鶴	
◇ ふれあいの家ーおばちゃんち	
その7：「子育てにやさしい街への提案」 実現に向けて“次なる提案” .....	20

## 2008年度の取り組み

地域こそって子育て懇談会  
企画会議構成メンバーみなと子育てネット  
Wa.Wa.Wa明治学院大学  
社会学部附属研究所めいがくキッズ&  
ママ・パパ応援隊港区立子ども  
家庭支援センター

## 地域こそって子育て懇談会企画会議

## その他の取り組み

6  
月6月19日(木)  
スタート

企画会議は6月にスタート。昨年度の3つの提案の実現に向け、いただいた様々な意見・感想をふまえてディスカッションを重ねました。

子育てにやさしい店を求めたけれど、それは地域の子育てに役立つ「生情報」を共有したかったこと、居場所づくりは地域の顔見知りをつやしたり、ひとりぼっちで子育てはしたくないということ、子育て中でもできることに取り組みステップアップしたいこと…等々。3つの提案をあらためて吟味しました。

6月28日(土)

社会学部附属研究所主催 市民講座  
「子育て支援は贅沢か？」開催  
協力：子ども家庭支援センター

7  
月7月10日(木)  
7月29日(火)

7月8日(火)

社会学部附属研究所主催  
子育て相互支援活動のための  
活動スキルアップ講座  
第1回「子育て中だからこそ！  
やれる企画いろいろ」  
協力：子ども家庭支援センター

8  
月

8月21日(木)

ディスカッションを進めるうちに他地区の様子が気になり、この頃皆で先進「居場所」の視察に行きました。

また、昨年の調査協力者に昨年度の提案に関し語ってもらう座談会を開催しました。

9月9日(火) 視察  
「コミュニティカフェ ぶりっじ」訪問

9月26日(金) 視察  
「千代田区社会福祉協議会子育てサロン  
フルーツエリア鶴」訪問

9月29日(月) 視察  
福祉プラザさくら川内  
「茶房さくら川」訪問

9月12日(金)

社会学部附属研究所主催  
子育て相互支援活動のための  
活動スキルアップ講座  
第2回「いろいろな人たちに  
たすけてもらおう！」  
協力：子ども家庭支援センター

9月30日(火)

社会学部附属研究所主催  
子育て相互支援活動のための  
活動スキルアップ講座  
第3回「子育て情報を発信しよう！」  
協力：子ども家庭支援センター

9  
月

9月11日(木)

地域こぞって子育て懇談会企画会議

その他の取り組み

10月

10月14日(火)



10月23日(木)  
社会学部附属研究所主催  
「子育てをささえる地域創り座談会」開催  
協力：子ども家庭支援センター  
みなと子育てネットWa.Wa.Wa  
座談会参加者

10月11日(土)・12日(日)  
みなと子育てネットWa.Wa.Wa  
「みなと区民まつり出展」  
協力：めいがかキッズ&ママ・パパ応援隊

10月29日(水)・30日(木)  
みなと子育てネットWa.Wa.Wa  
「NEC協賛IT講習会」開催  
協力：子ども家庭支援センター

11月

11月4日(火)  
11月21日(金)



子育てに役立つ「生情報」収集と発信のために店の基準や親子のマナーについてあらためて吟味。懇談会でのメインメッセージ「つながりの輪をひろげたいなあ～」の検討もこの頃行いました。

11月6日(木) 視察  
「ふれあいの家-おばちゃんち」訪問

11月27日(木) 視察  
「おでかけひろば @あみーご」訪問

この頃これまでのディスカッションをどう表現しようかと、当日の運営について検討しました。



12月

12月11日(木)

12月4日(木)  
みなと子育てネットWa.Wa.Wa  
「地域子育て情報カフェPOPOPO」  
(ブログ) スタート!

2009年  
1月

1月9日(金)  
1月14日(水)  
1月16日(金)  
1月21日(水)  
1月23日(金)

1月24日(土)  
**2008年度 港区地域こぞって子育て懇談会開催**

2月

2月13日(金)



反省会では今年の反省と共に、来年度どんな取り組みをするかを話合いました。

2月27日(金)  
社会学部附属研究所主催  
子育て相互支援活動のための活動スキルアップ講座  
第4回「ネットワークって、どんなつながり？  
子育て相互支援と地域創りのネットワーク」  
協力：子ども家庭支援センター

\*地域こぞって子育て懇談会以外の社会学部附属研究所事業やみなと子育てネットWa.Wa.Wa事業も掲載しています。

2007年度懇談会では、参加された方々から様々な意見をいただきました。「子育て支援は税金をつかうレベルだろうか、贅沢ではないか」という意見もありました。それを受け、子育て支援の必要を発信してはどうか、との意見もいただきました。そこで、明治学院大学社会学部附属研究所が、市民講座「子育て支援は贅沢か？」を開催しました。

報告者：みなと子育てネットWa.Wa.Wa 伊佐見節子

## 市民講座「子育て支援は贅沢か？」

2008年6月28日（土）開催 明治学院大学社会学部附属研究所主催

講義1「子育て期のストレスとサポート資源

～港区の母親調査からわかること～

講師：野沢慎司

講義2「子育て支援の現状と課題」

講師：松原康雄

（講師は共に、明治学院大学社会学部教授）

### 講義1

「子育て期のストレスとサポート資源

～港区の母親調査からわかること～

キーワード

ストレス緩和のサポート資源＝友人・仲間  
サークルから友人ネットワーク拡張

夫が家事・育児に積極的に関わると育児不安度が低くなりますが、どのくらい長く住んでいるかも減少のポイントになっているようです。地域の居住が長ければ顔見知りが増える、顔見知りからサークルづくりへと発展し、ネットワークができてくる。ストレスの少ない子育てをしている人は、いろいろな人の力を借りているのです。やっぱりネットワークが大切だということでした。

### 講義2

「子育て支援の現状と課題」

キーワード

支援の必要が、社会的に認知されること（≠私的な支援は“贅沢”だ）  
取り巻く地域の課題 子育て当事者が主体となる関わりを

子育て支援の多様化を地域社会がどのように認識するかによって、贅沢になるかが決定するようです。だとすれば、贅沢でない子育て支援をめざしていきたいです。相互にささえあうようなネットワークづくりは、自分たちで主体的につくっていかないと広がっていきません。自主的・主体的、これがキーワードになります。自主的なネットワーク作りをめざしていきたいと思います。

その2

「子育てをささえる地域創り座談会」を開催しました。

「子育てをささえる地域創り座談会」は、2007年10月に芝浦港南地区を対象に実施した「子育てアンケート調査」での結果\*を踏まえ、[子連れでもゆっくり安心して利用できる店舗]および[子連れで集えるオープンスペース]の具体的なイメージや要望を把握することを目的として実施しました。

そして、2008年度「子育てにやさしい街への提案」実現に向けての取り組みのための参考意見としても活用しました。（\*「子育てアンケート調査」結果は、2007年度港区地域こぞって子育て懇談会報告書に掲載しています）

報告者：明治学院大学社会学部附属研究所 濱田智恵美

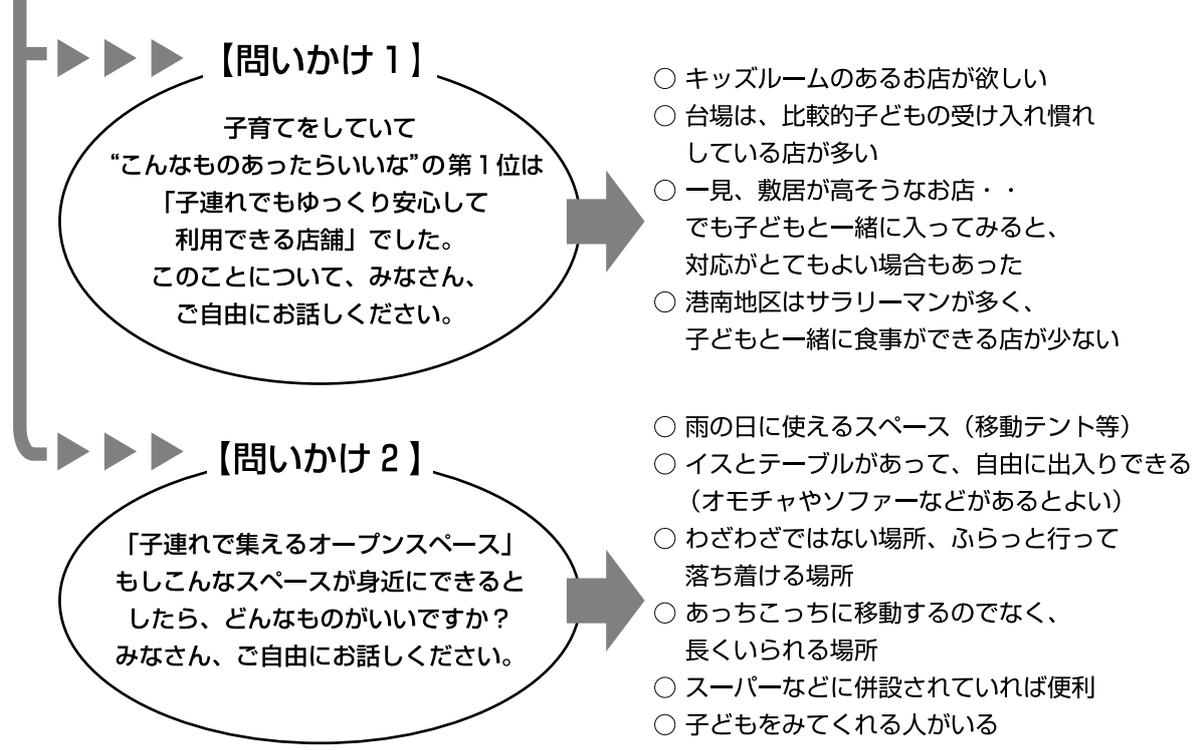
座談会の運営概要

- (1) 方法：今回の座談会は、できるだけ司会者の介入を控え、協力者間で自由に発言したり、率直な感想をお話してもらうために、「グループインタビュー」という手法を用い、明治学院大学社会学部附属研究所のスタッフ1名の司会・進行により進めました。
- (2) 対象者：「子育てアンケート調査」にて「子育てに関する話を聞かせていただける」と回答し、かつ連絡先を明記してくださったアンケート調査協力者
- (3) 協力者の募集方法：電話、メール、ファックスにて座談会への協力をお願いしました。
- (4) 座談会協力者数：7名  
居住地区の内訳：台場地区（4名）、港南地区（2名）、芝浦地区（1名）
- (5) 座談会実施日：2008年10月23日（木）
- (6) 座談会実施会場：明治学院大学社会学部附属研究所



座談会の結果概要

座談会は90分間を設定し、協力者の皆さんには司会者からの2つの問いかけに対して、自由にお話をさせていただきました。



## 子育てにやさしい店の基準って？ こんなディスカッションをしました。

「子育てにやさしい店の基準づくり」という提案について、昨年の懇談会では、子育てにやさしい店だとわかるマークが店にはられたいと提案しました。

ですが、あらためて皆で話してみても、おいしい食事のできるレストランだけを求めたわけではないこと、飲食店に限らず、地域の中で子連れにとってよかったお店の「生情報」を共有したいことを確認しました。そして、昨年の懇談会でも、今年取り組みの中で出会った方たちにも、利用側、つまり親子側のマナー向上を指摘する声がありました。

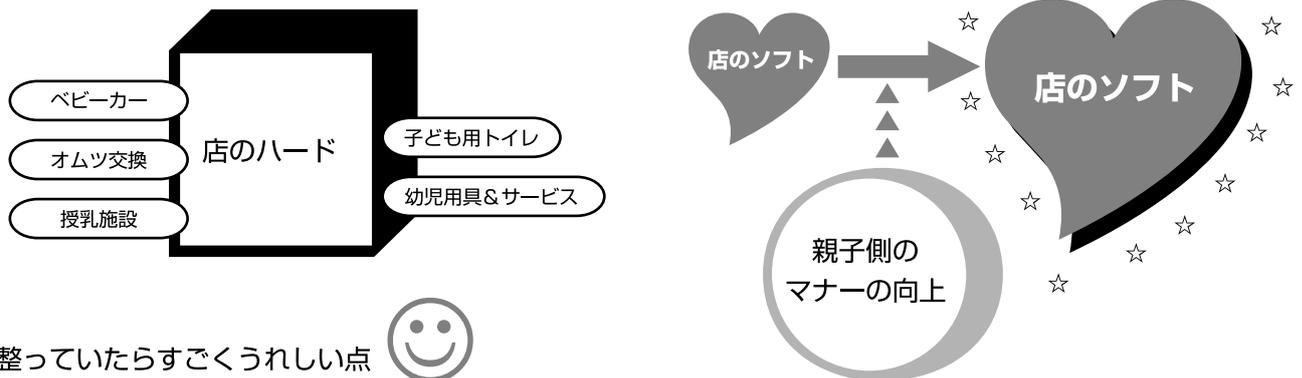
お店に子連れに優しくして、、、と求めるだけではなく、利用側のマナーが向上したら、お店のソフトは向上する、ということ踏まえる必要があります。

ハードについては、以下の点が整っていたら、すごくうれしいわけですが、それらを求めることだけでなく、店に歓迎される子連れ客になることも意識しなければと話しました。

報告者：みなと子育てネットWa.Wa.Wa 中鉢康子

子育てにやさしい店の基準???

みなとバージョンを検討しました



整っていたらすごくうれしい点



### <ハード編>

#### ベビーカー

入れるスペースがあるかどうか。  
入り口等の段差はどうか。  
入れない場合の対応はどうか。

#### 授乳施設

スペースがあるかどうか。  
お湯を提供してもらえるか。  
専用スペースがない場合で個室のある店で、使用させてもらえるか。

#### 幼児用具&サービス

子どもメニューがあるか。  
少量メニューがあるか。  
子ども用の食器・スプーン等があるか。  
ハイチェアがあるか。

#### オムツ交換

スペースがあるかどうか。  
専用スペースがない場合で個室のある店で、使用させてもらえるか。

#### 子ども用トイレ

あるかどうか。

### <ソフト編>

\*こんなお店の対応や姿勢がうれしい!と挙げられた意見等

- ・子連れでどうぞ〜の姿勢が感じられる。
- ・店のWELCOMEとPOSSIBLEは異なるだろうが、WELCOMEが感じられると入りやすい。
- ・子ども扱いが上手。例えば、子どもを抱っこしてくれるとか、子どもの相手してくれる。店員によるだろうが店の方針だったらとてもうれしい。
- ・子どもが好きそうなモノをもってきてくれる。
- ・親子のグループで入店OKなお店がほしい。

### 向上したい親子側のマナー・・・こんなこと

- ・ベビーカーについて、他のお客さんの迷惑にならないように置き場や扱いを考える。
- ・オムツを置き放しにしない。
- ・子どもの食べちらかしをそのままにしない。
- ・子どものことを考えれば、どこへ行ってもよいわけではないのでは？
- ・親子グループで個室を利用できると、ついやりたい放題に、、、でも店は公共の場だから、皆で利用する場合のマナーを子どもに教える機会にするべき。
- ・客なら何をしてもいいのではない。次に利用する人のことを考えよう。



その4

## みなと子育てネットWa.Wa.Waから「地域子育て情報カフェPOPOPO」が誕生しました！

昨年の懇談会の「子育てにやさしい店の基準づくり」「バギーキャラバンやります」という提案の実現について、お店に子連れに優しくして、、、と求めることだけでなく、店に歓迎される子連れ客になることも意識して、その上で、自分たちにとってのいい情報・ステキな店の情報等は、自分たちが努力して集めて発信して、皆で共有しようと考えました。

2008年12月より、ブログ制作というかたちで、この活動を開始しました。

バギーキャラバンをやって「子連れお出かけマップ」を作る計画は、2008年度には実施できませんでしたが、ブログで発信された情報を元にマップ制作にもつなげていきたいです。

報告者：みなと子育てネットWa.Wa.Wa 関根章代

地域子育て情報カフェPOPOPO  
<http://blog.goo.ne.jp/wawawablog>



私は、もうすぐ4歳になる子どもがいますが、フルタイムで働いていますので、区立保育園でお世話になっています。働くパパやママも、いろいろ情報が欲しいです。が、なかなか日中の情報をキャッチすることができません。そういうパパやママにも情報を発信したいと思います。ブロガーも地域特派員も募集中です。一緒にやろうという方、どうぞ声をかけてください。

その5

## NEC協賛「子育てママのためのIT講習会」開催しました。

本懇談会に、過去参加してくれたご縁もあって、NEC協賛による「子育てママのためのIT講習会」を2008年10月に開催しました。港区立子ども家庭支援センターと、先輩子育てネットワークである特定非営利活動法人新座子育てネットの応援もあり、実現しました。参加してくれたママたちに、再就職に限らず、いっしょに子育て情報の共有や発信にもITスキルが必要なので、それらを地域の中で活かしてほしい、と呼びかけたいと思います。

報告者：みなと子育てネットWa.Wa.Wa 宇山真紀子



ママたちに地域での活躍も呼びかけたい！



みなと子育てネットWa.Wa.Waは、昨年10月29日・30日の二日間、港区立子ども家庭支援センターで、子ども家庭支援センター・新座子育てネットワーク・NECのご協力を得て、「子育てママのためのIT講習会」を開催いたしました。

講座は、『子育てがひと段落したら働きたい』という母親を対象としたエクセル入門です。20人の定員でしたが、80人も応募があるほどの人気で、企画した私たちもびっくりでした。一日3時間の計6時間という講座で、皆さんとても熱心に受講され、これからの活躍が目に見えようでした。

「子どもから離れて、久しぶりに自分の勉強に集中できた。」「これから仕事に復帰するのに役立つ。」「ぜひまた機会があったら参加したい」「レベルアップ講座をやってほしい・・・。」という声も聞かれました。講座の内容だけでなく、講座に参加することによって出会う人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

## コミュニティカフェぶりっじ（世田谷区）

キーワード

- 商店街とのコラボレーション
- 子育てネット（子育て当事者）による運営
- 子どもの一時預かり
- 講座や企画の発信



コミュニティカフェぶりっじは、下北沢商店街にあり、2006年9月、特定非営利活動法人せたがや子育てネットと、世田谷区と商店街とのコラボレーションにより、子育てにやさしいコミュニティ作りの拠点としてオープンしたそうです。講座や勉強会が開催できるスペースのほか、コミュニティキッチン、一時預かり用スペースがありました。子育て情報も集められていました。

報告者（みなと子育てネットWa.Wa.Wa／伊佐見節子）

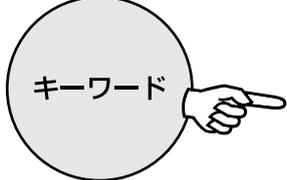
実際に訪問してみて、エレベーターはなく階段を上がっていきます。上がった先のスペースは思ったよりも広くはありませんでした。それでも、人が集い、いろいろ活動できるのだと感じて帰ってきました。



その6

先進事例から学ぼう！～視察報告2～

おでかけひろば@あみーご（世田谷区）



- 地域住民による住宅提供
- 住宅街の中の庭付き一軒家
- 子育て当事者による運営  
～スタッフもママ～
- 縁側のおつきあい風



おでかけひろば事業とは、厚生労働省の「地域子育て支援拠点事業」をうけて、世田谷区が推進している事業だそうです。未就学児の子どもと保護者が、交流したり、情報交換したり、育児相談できる場を身近な地域に整備することにより、子育て中の親の子育てへの負担感の緩和と子育て支援機能の充実を図ることを目的にしているそうです。

おでかけひろば@あみーごは、地域の戸建の住宅です。これは、財団法人世田谷トラストまちづくりが支援する、「オーナーが所有する家を近隣に開放し、地域に役立つ取り組み」だそうです。おでかけひろば@あみーごは、地域のオーナーの好意により実現した「地域共生のいえ」の取り組みのひとつです。

運営しているのは、「子育て支援グループamigo」です。運営しているのも子育てしている人たちで、地域の中で仲間を募って子育ての相互支援に取り組むグループです。

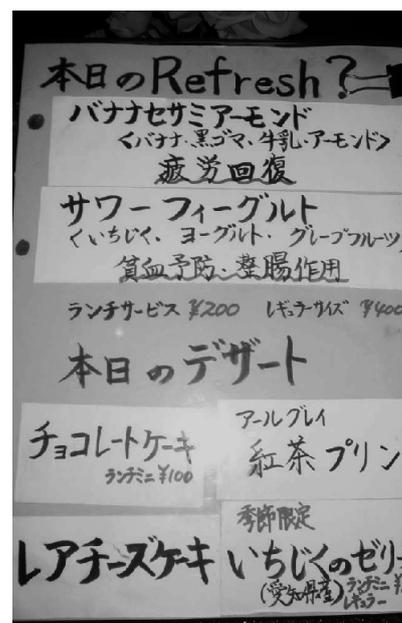
おでかけひろば@あみーごのテーマは、「放牧」です。放牧する子育てとは、赤ちゃんや小さな子どもたちを放ち、みんなでみんなの子どもたちをちょっとだけ遠くから見守る、、、そんな子育てだそうです。

## その6 先進事例から学ぼう！～視察報告3～

### 千代田区社会福祉協議会子育てサロン・フルーツエリア鶴（千代田区）

キーワード

- 社会福祉協議会と町会とのつながりによる実現
- フルーツパーラーの地域貢献
- 子育てサポートボランティアの活躍
- ちょっとステキな時間



千代田区社会福祉協議会が、事業として行っている子育てサロンです。会場として、一般のフルーツパーラーさんを2ヶ月に1回程度、2時間借り切って行っています。

元々は老舗の果物屋さんで、先代の店主さんは、町会活動にも熱心に取り組んでいたそうで、町会と社会福祉協議会とのつながりのなかで、この事業に会場を提供してもらうことがなかったそうです。フルーツパーラーさんにとっては、地域貢献です。

2ヶ月に1回程度ですが、赤ちゃん連れでは入りにくいこうしたお店で、すてきなデザートをいただきながら、おなじ赤ちゃんのいるママとおしゃべりを楽しめます。サロン当日は、社会福祉協議会が募ったサポートボランティアたちが、店の一角で赤ちゃんとおしゃべりしてくれることで、ママたちは、安心していっとき子どもとはなれておしゃべりができることも好評のようです。

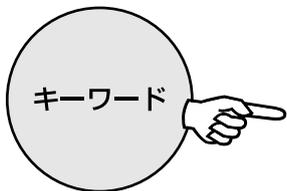
報告者（みなと子育てネットWa.Wa.Wa／廣田千秋）

とても綺麗で、店主さんの笑顔が印象的でした。フルーツジュースもとてもおいしくて、このようなところでリラックスできたらいいなあと思いました。

その6

先進事例から学ぼう！～視察報告4～

ふれあいの家ーおばちゃんち（品川区）



- 地域住民と専門職 & そのOBのネットワーク
- なんといいっても 「おばちゃん度」が大事
- 子育て当事者の活動応援（出張保育）
- 商店街活性化NPOとの協働



おばちゃんちは、他区で児童館の館長をされていた代表の渡辺さんが、品川の区職員や地域の住民の方とのつながりを元に、6年前に設立されました。保育の専門職もそのOBも関わっていますが、大事にしているのは、なんといいっても「おばちゃん度」だそうです。

活動は幅広く、親子で集まれる事業、子どもの一時的預かり、保育サポーター養成講座等の学びの事業、ママたちによるイベント企画やホームページや情報冊子づくりの活動時に出張保育でママたちを応援してくれています。また、品川宿の拠点は、世田谷のぶりっじ同様、商店街と区とのコラボレーションになっています。

拠点の店先は、コミュニティカフェになっていて、「待ち猫」といいます。その奥のスペースが、一時的預かり「ほっぺ」になっています。

報告者（みなと子育てネットWa.Wa.Wa／伴マリア）

視察時は、4歳と2歳の子どもを連れて訪れましたが、まさに「おばちゃんち」でした。二人の子どもはすぐになじんで、とても温かいほっとした空間を楽しむことができました。

## 「子育てにやさしい街への提案」実現に向けて “次なる提案”

2007年度懇談会「子連れで集えるオープンスペース募集」提案から  
2008年6月以降行った企画会議にて、昨年の上記提案について今一度、求めたものは何だったか、  
呼びかけたいことは何だったのか、行動すべきことは何かを協議し、吟味し、検討しました。

### 次なる提案

“つながりの輪をひろげるためにできること”

- 居場所づくりから、地域の中に顔見知りをつながりづくりをしたいです。子育て世代だけでなく、異世代のつながりもひろがりますように。
- 子育て支援関係機関のみなさん、子育て当事者がお客さんにならず、主体的につながりをつくれるよう、これからも応援してほしいです。
- 子育て支援関係機関のさまざまな事業の場も、地域のさまざまなつながりをひろげられる場になったらうれしい。

## 私たちが求めるオープンスペース、仮称『WA WA WA』のイメージ。

### <寸劇シナリオ>

脚本：みなと子育てネットWa.Wa.Wa

出演：みなと子育てネットWa.Wa.Wa

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

とある商店街の空き部屋を格安な賃貸料で借りることができた。小さなスペースだが、念願のスペースだ。りっぱなところじゃなくていい、身軽に、気軽にだれでも自由に入出りできて、ほっとできる場所。地域の人と知り合いを増やせる場所にしていきたいです。毎日開いていて誰がいる、お互いに支えあう場所になったらいいなあ・・・。  
異世代交流を目指すでき立てほやほやのスペースです。

### Ⅰ場面『オープンスペースができた!』編

#### 1) モモコ〔コーディネーター〕

「私モモコ、27歳。長男タカヤは4月から幼稚園に通い、次男カズヤは1歳6ヶ月になりました。チビがいるけど、みち子さんが見てあげるよって言ってくれてオープンスペースのコーディネーターをやることを決めたの。やすおさんと学生のボランティアの西内さんにも手伝ってもらって、今日からオープン!来てくれるかなあ」

#### 2) やすお〔ボランティア〕

「モモコさん、みち子さん、西内さん、ぼちぼちやりましょう」

#### 3) みち子〔ボランティア〕

「ほらほら、ゆったり構えて。カズヤくんのことは心配しないで、モモコさんよろしく!」

#### 4) 西内〔ボランティア〕

「そうですよー」

(P21へつづく)

## 私たちが求めるオープンスペース、仮称『WA WA WA』のイメージ

それぞれが何か作業していると、幼児連れベビーカーママ舞台上に登場し、WAWAWAを見つける。

5) ささき (2児の先輩ママ)

「あら、新しくできたのね。自由にお入りくださいだって。ユメちゃん、入ってみようか」

6) ユメ「うん」

7) 親子「こんにちは」と、言いながら中に入る。

8) モモコ「こんにちは」

9) ユメ「ママ、おもちゃがあるよ」

10) モモコ「自由に遊んでいいのよ」

11) ささき「ここは何時までですか？」

12) モモコ「今のところ4時まで。様子を見ながら考えていかなくちゃ、朝は11時からなの」

13) やすお「これできるかな」とけん玉をみせる。

ユメが興味を持ってきたので、教える。そこへ赤ちゃんを抱っこした新米ママ登場。

14) エリナ (新米ママ)

「この子ったら夜になると目がきらきらして寝てくれないの。初めての子だし、転勤で東京に来て近くに知り合いがないし、どうしたらいいのかわからない。今日は、思い切って気晴らしにお散歩に出てきたの。ついでにあのオープンスペース覗いてみようって。この近くにオープンしたって聞いたけど。あ、ここだね」

ちょっとこわごわ中に入る

15) 全員「こんにちは」「こんにちは」

16) みち子「あらあ、かわいい。今何ヶ月なの？」

西内、モモコも、覗き込む。

17) エリナ「今4ヶ月です」

18) みち子「寝てるのね。重いから下に寝かせたら」

エリナ、赤ちゃんを寝かそうとするが起きてしまう。

19) エリナ「もう、置くとすぐ起きちゃう」

20) みち子「あらあら、ゴンと置いては起きちゃうわよ。そうと、そうと」

21) エリナ「ほんと、うそみたい。ありがとうございます」

エリナ、赤ちゃんが寝てほっとする。みち子さんやささきママとも会話が弾んできた。

新米ママエリナも相談できたようだ。親も子も場にだんだん慣れてきて表情が柔らかくなる。

22) ささき「あらやだ、もうこんな時間。帰らなくちゃ」

23) ユメ「ママ、もう帰るの、もっと遊びたい」

24) モモコたち「また来てね」

25) 全員「バイバーイ」

26) ユメ「楽しかったね」

27) ささき「ママもおしゃべりできて楽しかった」

子どももママも笑顔で退場。

### Ⅱ 場面『慣れてきた!』編

28) 川上、ユメ「こんにちは」

29) モモコ「あら、今日はパパと来たのね」

30) ユメ「パパ、早く」

慣れているのでさささと中で遊びはじめる。

31) 川上「かみさんが出かけて子守りですよ。それにしても、子どもと遊ぶのも大変ですね。仕事の方が楽な感じですよ」

32) みち子「そう、母親って大変なのよ。これからはもっともっと子育てに関わって欲しいわ。よろしく」

33) 川上「はい、がんばります」

一同笑い。そこへエリナが友だちを連れて来る。エリナは先日の飛び込みで知ったWAWAWAにときおり通っている。

今日は友だちがいっしょだ。

34) マリア「エリナママ、ここなのオープンスペースWAWAWAって」

35) エリナ「うん、到着。気に入ると思うよ」

36) ふたり「こんにちは」

37) モモコたち「こんにちは」

38) やすお「今日は友だちもいっしょだね」

39) エリナ「いいところあるよって連れて来ちゃった。健診で声かけてくれたお友だちなの」

40) マリア「はじめまして、マリアです。」

41) モモコ「こちらね、川上パパ。今日がはじめて」

(P22へつづく)



## 私たちが求めるオープンスペース、仮称『WA WA WA』のイメージ

(P21より)

それぞれ軽く自己紹介しながら、座る。みち子さっそく赤ちゃんの世話をする。やすおは川上と雑談中。ここWAWAWAでは、お昼持参で食べられるのです。

4 2) 西 内「ただいま。秋山商店でおいしいお弁当買って来ました」

4 3) モモコ「お昼にしようか。」

それぞれ昼食をとる。しばらくして、宇山登場。

4 4) 宇 山「こんにちは。おやつ作ったよー。食べてね」

4 5) 一 同「ありがとうございます」「ごちそうさま」

4 6) みち子「宇山さんはお菓子作りが得意なの。レシピもらったわ。手作りお菓子とコーヒーをいつでもお安く出せるようなカフェにできたらいいわねえ」

4 7) マリア「私もなんかやってみたい。英語なんてだめかしら」

4 8) モモコ「あらあ、大歓迎よ。ぜひ、ママのスキルを発揮してほしいなあ」

4 9) みち子「私も英会話やってみたかったの」

5 0) やすお「俺もやろうかなあ」

5 1) 西 内「私も」

まわりには楽しそうな声が響いている。

5 2) 川 上「ユメ、帰るぞ」

5 3) ユ メ「えー、もう帰るの」

5 4) 川 上「また来ればいいだろう」

5 5) ユ メ「うんまた来る。ママにけん玉教えてあげようっと」

川上・ユメ退場。

5 6) やすお「昔遊び教えちゃおうかな」

5 7) みち子「あら、私も縫い物が得意だからやろうかな」



### Ⅲ 場面『オープンスペース大活躍!』編

今日はここに来てるマリアのミニ英会話教室の日です。エリナも友だち連れて参加しています。西内の友だちもいつのまにかメンバーになっています。

5 7) 西 内「あと準備するものありますか」

5 8) モモコ「これでOK」

5 9) やすお「ユメ、こっちにおいで」

みち子は赤ちゃんを抱っこしている。

6 0) マリア「みなさん、こんにちは。これからミニ英会話教室を開きます。エブリバディ・・・」

6 1) モモコ「オープンして半年。まわりの人に助けられて、にぎやかな場になってよかった。これからもより良い場になるようがんばります」

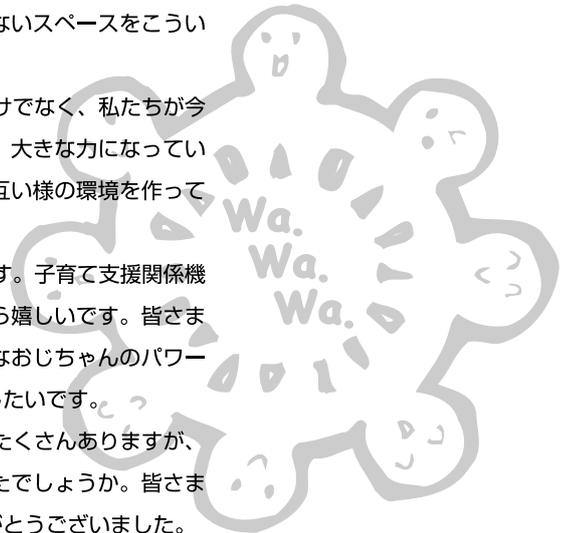


◎おじいちゃんもおばあちゃんも、おじさんもおばさんも、パパもママもお兄ちゃんもお姉ちゃんも、そう、だれでも集える場です。得意なものを披露したり、伝授したり、おしゃべりしたり……。みんなで空間を共有しています。ずっといてもいいし、顔見せだけでもOK。大家族という感じです。自由な場ではありますが、人としてのマナーは守っていきます。使われていないスペースをこういう場として、あちこちに造っていきたいです。

◎運営・管理も自分たちでやっていきます。行政のサービスを待っているだけでなく、私たちが今できることをやっていこうと思います。ひとりひとりのスキルを合わせれば、大きな力になっていきます。与えられるだけのサービスではなく、自分にできることも提供しお互い様の環境を作っていききたい! 港区内にまずひとつ、私たちの手でつくっていききたいです。

◎今日の参加者の皆さまと、関係機関の皆さまの協力をぜひいただきたいです。子育て支援関係機関の皆さまの事業の中でも、このようなつながり作りを意識していただけたら嬉しいです。皆さまと場を作っていきたいので、ぜひいろいろな力を分けてください。経験豊かなおじちゃんのパワーも、おばあちゃんのパワーもお貸しください。できることでよいので、お願いしたいです。

◎運営にはお金もかかるでしょうし、これから考えなければいけない課題もたくさんありますが、オープンスペース仮称「WAWAWA」のイメージをお伝えすることができたでしょうか。皆さまと、より良い環境をめざしてこれからも活動していきたく思います。ありがとうございました。



## 2



## 子育て支援関係機関のみなさんよりコメント 「みなさん語って…」

次なる提案“つながりの輪をひろげるためにできること”は、住民の「がんばり」だけでは限りがあります。とくに、日々子育て当事者を支援している関係機関のみなさんとの連携は重要、いっしょに考えてほしいと思いました。

次なる提案について、子育て支援関係機関のみなさんがどのように受け止めてくださるか、日々の実践では、この提案に関連する取り組みをされているかなど、子育て支援関係機関のみなさんよりコメントをいただくことにしました。

コメントをお願いしたのは、以下のみなさんです。

台場児童館	保志館長
あっぴい台場	渡邊リーダー
ベネッセチャイルドケアセンター港南	池戸園長
芝浦幼稚園	橋本園長
品川駅前港南商店会	秋山会長
民生・児童委員子育て支援部会	廣澤部会長
あっぴい麻布	和田代表
西麻布保育園	菅野副園長
子育てひろば「あい・ぽーと」	池田副施設長
子育て・家族支援者	安藤氏
みなと子育て応援プラザP o k k e	川原エリアマネージャー
港区子ども支援部子育て支援計画担当	神田課長
港区立子ども家庭支援センター	川上所長

# 子育て支援関係機関のみなさんよりコメント

## ●台場児童館 保志館長

児童館は、「子どもの遊び場」であると同時に、「子育て支援の役割」、「地域のコミュニティを作っていく役割」、この3つが大事な使命です。ですから、今回のつながりをつくっていくというテーマは、まさに児童館が一番担っていかなければいけないところです。

児童館が日頃やっていることとして、一つは、乳幼児親子さん同士が、または子育てをしている家庭同士がつながりを作れるようグループ活動をしています。去年から今年にかけて、約1.3倍、130組くらいの方が登録され、お子さんがとても増えている状態です。

二つめとして、乳幼児親子さんと違う世代の交流事業を増やしてきています。中学生と乳幼児親子、高齢者と乳幼児親子。今度、森美術館に高齢者の方と一緒に遠足に行きますが、このような活動を増やしています。それ

から小学生と乳幼児親子も、春休みからスタート予定です。

三つめとして、今まで児童館がやってきているお祭りやイベントの中で、地域ぐるみの広い交流を増やしています。お祭りは、昔からどの児童館でもやっていて、大勢の方にいらしていただいています。台場児童館では、去年からビーチフェスタというビーチでの運動会を始めました。たとえば、乳幼児も参加できる種目を揃えているのですが、そこに高齢者の方が景品を作ってプレゼントするという内容を取り入れています。児童館が、日ごろ当たり前に行ってきた事業の中に、地域のすべての大人と子どもと一緒に参加できることを増やしています。どうぞ各児童館に遊びにいらしてください。

## ●あっぴい台場 渡邊リーダー

はじめまして。港区子育てひろばあっぴい台場の責任者/リーダーの渡邊です。あっぴい台場では、昨年8月20日に商業施設メディアージュ内4階にオープンしました。入口を一歩入ると、全てが見渡せるかわいらしい施設です。

まだまだいろいろ手探り状態ですが、今地域でのつながりとして考えているのは、まずはスタッフと利用者さんとのつながり、その中でスタッフが仲介役になり、利用者さん同士のつながりづくりをしています。台場地区という商業地で、観光客の方もいれば、港区の他地区の方も多くいる所なので、地区が違って、同じ港区の子育てをしている仲間同士/お友だちということで、スタッフが間に入りながら、同じくらいの月齢のお子さんを見つけると、なんとなく一緒に紹介しながらつなげることを、現場で行

っています。「じゃあ次ここで会おうね」という会話をしながら利用者さんが帰られることもあります。そういう光景を見るとスタッフは、「よかったね」と言って笑顔で皆さんを送り出しています。

小さな施設で何もできないのですが、スタッフの手作りおもちゃをひろば内に多く置き、スタッフと利用者さんとのつながりを持ちながら、簡単にできる育児、楽に育児をしましょうという提案をしています。

もうひとつ、最近始めたことは、忙しいお父さんたちが、「お子さんとどう関わっていいかわからない」と聞かれるので、パパに向けての「Let's do! (レッツドゥー)」という、パパだって一緒にやってみようという題の講座を始めました。大分利用者さんも増えてきました。皆さん、ぜひ一度お越しください。

## ●ベネッセチャイルドケアセンター港南 池戸園長

ベネッセチャイルドケアセンター港南の園長池戸です。私たちの園は、2年前、芝浦港南地区に新しくできた、港区で初めての企業立の保育園です。ベネッセは「よく生きる」をモットーとし、その方針で保育を展開しています。60人という小さい保育園ですが、同時に一時保育を開設しています。一時保育は今、非常にニーズが高く、400名の方が登録しています。その400名の方がフルに利用されているわけではありませんが「いざという時に使いたい」という希望が多いです。私たちは「緊急は断らない」という姿勢で展開し、急な入院・通院・冠婚葬祭などで要請があった場合は、どんなに予約が入っていても、全スタッフで保育をする方針で受け入れるようにしています。

新しい地域ですので、引っ越してきて孤独な思いをする方も多いようです。リフレッシュで何回か利用するうちに、だんだんと笑顔も柔らかくなり、

普段もお話ができるようになってきたかな、という感じがします。寸劇を見ていて思ったのですが、私も園長としてというよりも、むしろ港南地域のおばちゃんとして「何でも話をきくわよ」と接していきたいなと思います。

もうひとつ、一時保育室で昨年10月から「スマイルファミリー」という企画を始めました。自分が子育てでいっぱいになって子どもを預けるだけでなく、子育てを楽しんでいただくという企画です。子育ては大変だけど楽しいよ、忙しいけど幸せだよ、ということを皆さんのヒントになるといいなと昨年10月からはじめ、何人かが定期的に利用しています。今後もこのような事業を通して、私たちができる発信を続けていきたいと考えています。どうぞ皆さん、遊びにいらしてください。

## ●芝浦幼稚園 橋本園長

こんにちは。芝浦幼稚園長の橋本です。港区立の幼稚園は12園あり、この園も園庭開放や未就園児親子対象の会を、週1回～月2、3回行っています。芝浦幼稚園でも広い砂場がありますので、子どもの保育後に園庭開放をしています。地域の小さいお子さん方、親子連れで遊びに来て、消毒された所で思い切り砂遊びをしたりアスレチックで遊んだりしています。「幼稚園で遊ぶ会」は、朝子どもたちが来ると同時に、午前中、月1回～2回行っています。幼稚園の子どもたちの様子を見ながら、親子で遊ぶことを大事にしています。そして、幼稚園が設定した場ではなく、そこに

参加する方々が自主的に運営をしています。在園児の保護者が主ですが、下の小さいお子さんを連れて受付をしたり、今日はこんな企画をしましょうと歌遊びをしたりダンスをしたりと、自分たちも運営に参加するところが、少し自慢かなと思います。

幼稚園という教育施設ですから、4才・5才になると、子どもたちがどんなふうに成長するかを身近で見ることができます。赤ちゃんや1、2歳のお子さんをお持ちのお母さんも、将来の夢を育みながら参加できる場所がいいのではないかと思います。ぜひ利用してください。

## ●品川駅前港南商店会 秋山会長

去年参加した時に、商店街に「子どもと一緒に入れるような所を作ってください」と言われ、「それはできません」と言いました。空いている店舗もありませんし、家賃も高い。もしやるのなら、大きいビル等を作るときに住民の要求という形でゴリ押しして作らせる、そういうやり方しかないと提案しました。

実は、港南地区に以前原製作所というのがありましたが、今度、三菱地所がそこを開発し、大きい18階建のビルを作ります。そちらの設計をしている方が、2人ほど参加してくれました。ここに何かそういう場を作っ

てくれるようです。オープンスペースですが、皆さん方が考えているようなことを、やってくれるようにきいています。

また、港南小の立て替えにあたり、新しい施設を港区で作る予定で、そのための委員をしています。そこにも多少のスペースですが、お店ではなく、イス等があるだけで「勝手にジュースとか何かを持ってきてそこで勝手に食べ」というやり方ですが、近々2か所、実現できそうですので、期待してほしいと思います。

## ●民生・児童委員子育て支援部会 廣澤部会長

昨年活動した実例に基づいてお話しします。民生・児童委員子育て支援部会は、団体としても行動しますが、地域の活動の、微力ですが、必要とされるならばお手伝いさせてもらおうと今日も部員が参加しています。

最初に、三光幼稚園で、6月2日品川水族館に遠足に行きました。大人の目が多い方が安全ということで民生・児童委員がひとり参加しました。本人も「子どもたちと一緒にとても楽しかった」との意見をいただきました。9月22日には、幼稚園のPTAでバザーを開き、人形を教えて欲しいと言

われ、私がPTAへうかがい講習会をしました。10月3日にバザーが行われたようです。その時の製品でポチ袋です。

11月7日には、上野動物園に電車を利用して行く行事があり、要請を受け、部員2名を手配しました。子どもたちもなついで、電車の中でもマナーがよく、参加した部員も楽しかったと、後日街で子どもに会った時に声をかけられた、とのことでした。微力な協力ですが、これから要請があったら、時間の許す限りうかがいたいと思っています。

## ●あっぴい麻布 和田代表

皆さん、こんにちは。あっぴい麻布の和田です。あっぴい麻布は、去年の12月16日にオープンしました。まだ生まれて1か月とちょっと、生まれてたてです。12月に登録者がもう249組。1月に入り、200組くらい。総数434組の方が登録され、オープンしてから毎日、100人以上の親子が出たり入ったりしています。

麻布十番という場所は、人も車も多そうな雰囲気・イメージですが、大通りから一本入り、麻布図書館のすぐ近くです。車の通日も非常に少なく案内がいいところ。一度皆さんお立ち寄りください。

あっぴい麻布を開くにあたり、ほっとできる空間をつくりたい、友だちづくりの場所になるといいな、地域の人たちとつながりを持って、地域のこの場所がとても暮らしやすく子育てがしやすい場所だなと感じてもらいたい、そういうコンセプトで、あっぴい麻布を開きました。

あっぴい麻布のパンフレットと「ゆいまーる」という通信を持ってきましたので、皆さんお持ち帰りください。通信誌「ゆいまーる」は、沖縄の言葉でつながり・助け合い・支え合いという意味だそうです。よろしくお願いします。

## ●西麻布保育園 菅野副園長

こんにちは。西麻布保育園の菅野です。私の保育園では、満4ヶ月から就学前の子どもまで、100名、朝7時15分から夜8時15分まで預かっていて、地域で、家庭で、在宅で子育てしている方たちへの応援をどうしているかについては、工夫が必要とされることです。

働いているお父さん・お母さんたちへの就労支援が、今非常に大変な時代に入ってきています。お母さんたちも、1泊2日で上海に出張とか、3泊でシンガポールに出張しなければいけないとか、朝方2時に帰ってきたとか、そんな働き方をせざるを得ない保護者もめずらしくない状況もあります。そんな状況の中で、保育園の役割を担いつつ、在宅で子育てをしている方々を支援していくことが求められていると思っています。

今、私たちの資源の中で宣伝できるのは、直営で食事を作っていて、児童

館と福祉会館が隣り合わせなので、試食会を年間4回開いています。よく美味しいものがある所には人が集まると言いますが、だいたい50組の親子が利用されます。先日は保育園でお弁当を作り、20食を児童館へ持っていき、そこで輪になって食べながら、子育ての悩み等をいろいろ聞いたりしました。

都会では見られなくなったお餅つきや焼き芋とか、そういう行事に来てもらい、その中で孤立しているお母さんはいないかなとか育児相談をしながら、つながりを持てるようにしていきたいと考えています。

隣の児童館に、畳20畳近くのずっといられる施設があるので、そちらと連携してたまり場をつくりながら、子育てを支援していきたいと考えています。

## ●子育てひろば「あい・ぼーと」 池田副施設長

子育てひろば「あい・ぼーと」副施設長の池田です。「あい・ぼーと」は、開設して2009年で6年目を迎えるところです。旧青葉幼稚園の施設で、親子が自由に集って遊ぶつどいの広場事業と、理由を問わない一時保育事業や人材養成等を行っています。理由を問わない一時保育ですから、リフレッシュや不定期な仕事等、様々な理由があります。今、この事業へのニーズが高まっていて、今年度は、ひと月約2,000時間前後利用頂いております。この一時保育を支えているのが、「あい・ぼーと」で実施している子育て・家族支援者養成講座を修了された「子育て・家族支援者」さんたちです。今日の懇談会で保育を担っている方たちも、「あい・ぼーと」

の認定を受けた支援者さんたちです。

養成講座は、2005年の1月からスタートし、3級・2級と開催し、約200人以上の方が認定を受けて港区内で活動をしています。今日も、何人かの支援者さんが参加して下さり、本当に嬉しく思っています。この講座は3級と2級とあり、3級は集団の場での一時保育の支援者、2級は派遣型一時保育事業の支援者として区内で活動しています。一つの施設でできることはかぎられていますので、地域で人と人とをつなぐ仕組みを広げていきたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

# 子育て支援関係機関のみなさんよりコメント

## ●子育て・家族支援者 安藤氏

子育て・家族支援者の安藤です。現在私は、NPO法人あい・ぼーとステーションの一時保育「あおば」で、週2回保育士の方々の指導のもと、見守りの支援活動をしています。また、派遣型支援活動として、週3、4回ご家庭にうかがい子どもさんの見守りと保育のお手伝いをしています。そして、保育園のお迎えと、保護者の指定された場所に送り届ける支援も週1度しています。その他、港区や千代田区の行事や講座等の見守りを時々しています。これらの派遣活動を無事に行えているのも、日頃「あい・ぼーと」の支援活動中に、専門職の保育士の方々から細やかな指導をいただいているおかげだと思っています。

今日のテーマに関して、地域でのつながりを広げるためのアイデアは、という問いに関して、思い出すことがあります。一昨年春、「あい・ぼーと」の3級講座受講時に、「あい・ぼーと」代表理事の新澤先生が、「子育て支援の場が、コンビニエンスストアの数ほどにあちこちにできたら素晴らしい」というお話しをされました。私も、一時保育「あおば」に電車を乗り継いで来る親子さんたちをお見かけする度に、その大変さを思い、新澤先生の言葉を思い出します。

ただ、お子さまの命を預かる大切な場所と考えると、相当な準備の上経験ある保育士のもとで支援者が活動する場を街の角ごとに作ることは今すぐには無理かもしれません。そう考えると、「あい・ぼーと」の2級認定者である派遣型支援者が増え、身軽な支援者が支援を望む家庭にうかがうシステムが、保育所や一時保育の場所が街のあちこちにできる日まではとても有効だと思います。

最後に、支援をしている子どもさんから勇気と元気をもらっています。日々成長していく子どもたちから、私もこれからの日々を一日一日大切にしていけることを教えられています。

最後に、支援をしている子どもさんから勇気と元気をもらっています。日々成長していく子どもたちから、私もこれからの日々を一日一日大切にしていけることを教えられています。

## ●みなと子育て応援プラザP o k k e ワーカーズコープ川原エリアマネージャー

こんにちは。子育て応援プラザP o k k eの川原です。実は去年の懇談会  
のとき、私たちP o k k eは、まだ構想でしかなく頭の中だけで、スタッフも私ともう1名だけでした。今は30名くらいのスタッフになっています。去年この懇談会に参加し、港区の子育てについて、P o k k eとして考えた最初の場でした。

ここからの出会いで、みなと子育てネットWa. Wa. Waの皆さんや、明治学院大学の皆さんにもいろいろなことを教えてもらいながら、P o k k eが開所したのは10月30日でした。開所以前に、みなと子育てネットWa. Wa. Waの皆さんと、出張広場等の取り組みをし、いろいろな地域のニーズを聞かせてもらいました。

そして、10月30日に立ち上がったのですが、まだまだ私たちは、いろいろなことに戸惑いながら運営を始めています。4つの事業を支えることと、

この港区の中の地域の状況を教えてもらったこの1年間、この場にもすごく感謝しています。

その中で私たち自身が大事にしたいと思っていることは、法人の考え方もありますが、地域が支えるP o k k eであって欲しい、そこを支える地域の人たちと一緒に参加できる場をできるだけ作りたいと考えています。もう1つは、当事者の人たち、子どもたちやお母さんたちが、主体性を持って、いろいろな活動に参加できる場づくりをしていきたい。それを支えるのが、私たち働くスタッフです。全員でみんなの協力の仕組みを支えられたら、ということで、子育て広場と一時預かり、トワイライト、ショートステイという4事業を、一緒に運営することでP o k k eは始まりました。利用案内等は、ホームページを新たに作りましたので、ご覧ください。

## ●港区子育て支援計画担当 神田課長

皆さんは、施設のフロントで活躍されているわけですが、私の仕事はその後ろで計画を作る立場です。

あっぱいの予算はボツになりかけたのが、去年の暮れから正月にかけて急につくことになり、ついたらすぐ作るということで、今2つのあっぱいを開設しています。お客さんがいっぱいきているので、「予算が足りない」という話がきていて、私としては非常に辛い立場です。P o k k eからも同じく「回していくのにこれだけかかるんだ」という話をいつも聞かされていて、「さてどうしよう」と毎日悩んでいます。

保育園は、就労の皆さんの支援、在宅の皆さんには、区立保育園の副園長

の話のとおりですが、もうひとつ、かかりつけ保育園ということで「みなとっ子」という名前の事業をやっています。妊娠の届出を出されたときに手帳をお渡しし、近くの保育園に名前を登録すると毎月お便りがきて、気軽に相談もできるという事業もしています。

さまざまな事業を展開していく計画を作る立場です。こういう場で、いろいろなニーズを聞いて、また計画の中に入れていくというふうに、常日頃アンテナを張っているつもりですが、直接話を聞ける場に参加でき感謝しています。これを機会に、何かありましたら、どんだん区役所の方にご意見を寄せください。よろしくお願いします。

## ●港区立子ども家庭支援センター 川上所長

本日は皆様多く集まっていただき本当にありがとうございます。「地域こそ子育て懇談会」は、子ども家庭支援センターの担当事業として、長い間やることができている。特にこの1年間、台場や麻布の広場が設置されたり、P o k k eが開設されたり、在宅向けの子育て支援事業が拡大されていますが、それだけのニーズがあるからです。

そこから、もう一歩進めたいのが、これからの一年と思っています。この懇談会は、子育て中の皆さんや子育てグループの皆さんのネットワークの中から生まれた企画です。オープンスペース、広場ですが、そういうものを主体的に担っていく人たちが、もしかしたらこれから本当にでき、そう

いう場が作れるかもしれない、力を持ちつつある状況だと思います。ですので、これからも港区は広場を増やしていくなかで、どれだけ皆さんが、本当に直接関わっていくことができるかを実現させていく、そのためのプロセスとして、これから大事な1年間だと思っています。その中に、今日参加の皆さんのご意見も、勿論聞いていかなければ、皆さんが使いやすく希望するものにならないと思います。今日お集まりの皆さんが、この後の時間の中で、よりコミュニケーションし、より良いものを実現させていきたいと思っています。みなさんのご協力をぜひお願いしたいと思います。

# 3



## 参加者によるラウンドミーティング みんなで聞こう・いっしょに話そう

「子育てにやさしい街への提案」取り組み状況報告と”次なる提案”、  
そして、子育て支援関係機関のみなさんからのコメントを聞いた後、  
多様な参加者同士が、小さなグループをつくって輪になって話しました。

## ラウンドミーティングはこんなふうに進めました。

地区内のお近くの方4～6人と小さなグループになります。

●きょうの感想や意見を、名札と同じ色の四角の紙に書きます。

●みなさんが一通り書き終えたら、自己紹介をします。

お名前・所属があれば所属・どこから来ました？など・・・。

●書いた感想や意見を紹介しあいます。

### ラウンド ミーティング 3つのお約束

・どんどん話をしましょう。

・他の人の話も聴きましょう。

・アメをなめながら気楽にお話ししましょう。

## ラウンドミーティングでは、さまざまな意見や感想がでました。

\*以下の意見や感想は、参加者が書かれた内容から抜粋しました。

### 子育て中のみなさんより

#### “つながりの輪をひろげるためにできること”に関する意見

- ・ 仕事をしている母なので、日中の催しに参加する機会がない
- ・ 地域のつながりがまだよくわからない。
- ・ 地域の交流がたくさんできる港区にしたいなあ～
- ・ 子育て中に一番辛いことは、母親が孤立してしまうことだと思います。行政の力を借りながら、知り合いをつくっていくことがとても親子にとって心強いと思います。母親が元気でいられることが子どもにもいいと思います。
- ・ 東京へ引っ越してきてからなかなか知り合いができずにいたのですが、港区の子育て支援を利用して知り合いができたと思いました。
- ・ ハードな面よりも港区にはコーディネーターの役割も求めます。
- ・ 若いママ家族は、新聞を取っていないのでメーリングリストやブログ（港区がコーディネート）したものがあればよいと思う。アフタービクス・Kissポートの情報・マタニティ検診・ヨガ・ect情報
- ・ 多くの方々やグループが子育てに一生懸命に取り組まれていることがわかり、良かったです。つながりが「キーワード」かと思います。
- ・ 地元で厳しく育ててくれるおじいちゃん、おばあちゃんがほしい。
- ・ 子どもとお年寄りさんとの交流がもっと広がればいいな。いろいろと教えてもらうこともあるはず。
- ・ 今日のお話をきいて、港区にいろいろな子育て支援のアイデアがあることを知りました。いろいろな人がつながったら、実現できることがあるのだと思いました。
- ・ 港区のママたちで待っている人（うけみ）が多いのを、自分から活動する人にしていくには、、、。
- ・ 不景気の中でも参加してくれる企業を見つけることは大事かも。
- ・ もっとこの活動が、子育て中・妊娠中の人に伝わるにはどうしたらいいのか、、、。
- ・ このイベントそのものをもっと子育て中の人にダイレクトに宣伝したら、有効に活用してもらえるのでは？

#### 注目1

支援の力を借りながら知り合いをつくってほしいとのコメントです。

#### 注目2

地域の中でおじいちゃん・おばあちゃんとのつながりを求める声です。

#### 注目3

この懇談会の有効活用へのコメントです。ぜひとも一緒に考えてほしいです。

### 子育て中のみなさんより

#### オープンスペースに関する意見・感想

- ・ ぷらっと立ち寄ることのできる「ひろば」がもっと増えればいいなと思いました。
- ・ いろんなスペースに年齢関係なく入れて楽しめたらいいなあ～もっと企業が支援してくれないかなあ～（一つあたってみたが返事がない）
- ・ 仕事している身としては、オープンスペースを利用する機会がないのでは、、、と思う。

#### 注目4

仕事をしている親も仕事のない時に集い、くつろぎ、地域でのつながりをひろげられる場を考えたいですね。

### 子育て中のみなさんより

#### 私もできたらいいなあ…

- ・ 子育てだけでなく自分の今できることを生かせる場があればと思いました。
- ・ いつも児童館を利用している立場ですが、自分も自主的に地域に参加できたらいいな、できるかな？と考えさせられました。
- ・ 子育て中でもあきらめずに挑戦できるとうれしい。
- ・ 皆さんとても活動的だな、、、自分ができることは何だろう、、、。

#### 注目5

この懇談会への参加により、なにかしてみようかと考えた方がおられました！



### 子育て中のみなさんより

#### こんなものほしいなあ

- ・ 芝浦の子育てサポートや情報がほしい。
- ・ 親も子も、お金をかけずに勉強や運動できる場と機会がもっとほしいなあ～。
- ・ 港区スポーツセンター内でのベビーのクラスを増やすか、スポーツジムの誘致してほしい。ヨガ・ピクス・プール・マタニティ。
- ・ 小学生と赤ちゃんの交流。
- ・ 港区にプレーパークを作ってほしい。小学生が思いきり遊べる場所(外)がありません。(今は渋谷区に通ったりしています。遠い)
- ・ 情報がまとめて入ってくると楽。
- ・ 一時預かりが麻布にもっとできるといいな。

### 子育て中のみなさんより

#### 感想いろいろ

- ・ あたたかい気持ちになった。思ったよりたくさん場がある。
- ・ 港区内の子育て支援についてが具体的にわかった。(情報源がばらばら、新しい支援が増えたので、文字だけの限られた情報では様子がわからないので)
- ・ 一時保育ができる施設が増えつつあるな。
- ・ 現在4ヶ月の子どもを育てています。保育園の空き待ちをしながら、育休をとっていますが、どこもキャンセル待ちということであせていました。しかし、在宅保護者への開放スペースが増えたこと、区の子育てイベントが豊富なことに助けられ、現在は楽しく子育てをしています。友人も増え、子どもが幸せを呼び込んでくれていると実感しています。予約や登録待ちも順番が込み合っているらしく、1ヶ月待ちです。ニーズはかなりあるのですが・・・。現実の厳しさも感じています。
- ・ 1年2年の間にサポートがずいぶん増えてきている感じ・・・
- ・ 自分の子は8歳になりあまり手がかからなくなりましたが、子どもが小さかった頃に「あったらいいのに」と思っていた施設が続々とできていてうらやましいです。

### 子育て中のみなさんより

#### 懇談会に関する意見・感想いろいろ

- ・ 子育て中の一般の人がもっと来てくれるといいなと思います。
- ・ 第1回目の懇談会に参加して、今回が2回目ですが、ずいぶん進歩した印象があります。テーマがはっきりして、成果もわかりやすいです。
- ・ もう少し具体的な意見の交換ができる場づくり。実際子育てしている方の参加、、、。

# ラウンドミーティングでは、さまざまな意見や感想ができました。

\*以下の意見や感想は、参加者が書かれた内容から抜粋しました。

## 地域活動者・NPOのみなさんより

### “つながりの輪をひろげるためにできること”に関する意見

- ・大きな輪の活動を担っていることを今日知りびっくりしています。
- ・なかなか周りにうちとけられない、そういうことが難しい方のケアをどのようにしたらよいかも考慮してあげられるといいかなと思います。
- ・食事を用意することで、支援施設などに行きにくい若いママ、子どもと遊ぶのが苦手なママも利用できるようになる！！
- ・食を通して人ってつながる！！
- ・教えたり援助する側も、相手の状況や様子、気持ちを考えて、接することも必要かなと思いました。
- ・ブログは（SNS？）はぜひ活用すべし！
- ・世代別の交流を行うことで、地域のつながりがより強くなる！
- ・「おばちゃん」の存在がと〜っても大切
- ・寸劇を見ていた時に子育て当時のことを思い返していました。話を聞いてくれる人、教えてくれる人、私も必要としていました。きっと大勢の人がそのように感じていると思います。
- ・地域とつながることの重要性を再確認しました。

### 注目6

支援の場に出かけにくい子育て当事者への心配です。地域には様々な親子が暮らしていることを常に考えていかなければいけないですね。

### 注目7

「おばちゃん」の存在と地域の中のいろいろな人とのつながりへの着目です。

## 地域活動者・NPOのみなさんより

### こんなものほしいなあ

- ・小学校の保護者会別室で乳幼児の保育をしてくれたら助かると思う。
- ・子育て支援関係機関の場所・電話などが明記してあれば良かった。

## 地域活動者・NPOのみなさんより

### オープンスペースに関する意見・感想

- ・建設されるビルにはじめからしくみを組み込む。
- ・ひろばの有用性⇔はじめの一歩に要する勇氣
- ・本当に気軽に立ち寄れる場が求められていること、自分たちで運営できる場を求めているのだと再認識しました。地域（高輪・三田）にまちかどサロンが開ける場所、昨年末に集まれるところがみつかりました。お子さん連れの若いお母様どうぞ・・・。

### 注目8

『まちかどサロン』!! 区内での具体的な取り組みを教えてくださいました。

## 地域活動者・NPOのみなさんより

### 懇談会に関する意見・感想いろいろ

- ・寸劇は楽しくわかりやすく表現されていたと思います(子育てひろば事業の)。
- ・たくさんの想いを知ることができ、今年一歩前へ進むきっかけになります。港区が大きなバックアップであることに勇氣をもらいました。これから歩く時によく見ながら、観察してみます。
- ・楽しく語れて良かったです。頭の中がワァーと広がりました。
- ・子育て中のお母さんお父さんの参加もしていただき、困っていることを聞きたかった。
- ・官学の連携があって可能性を感じる。
- ・こんなに多くの方々の子育てをサポートすべきだと考えていることに感動しました。
- ・クルボンズが気になる。

## 地域活動者・NPOのみなさんより

### 感想いろいろ

- ・子育て支援、港区全域で活動している立場にとって、港区全体での施設活動状況がわかって良かった。(全体像が見えてきました)
- ・私は、産前後の支援をしているので、他の施設内容がわかって良かった。
- ・お母さま方に、これからこういう活動の場、参加があると知っていただける機会になりました。
- ・子育て中の人不自由を感じていることと、支援の中味にはまだまだズレがあると感じる。
- ・産婦人科(出産できる病院)が減った。これからの人は大変!
- ・10年前とちがって子育てしやすい港区になっているなあと感じます。
- ・久々実家に来たとき、子どもを連れて行っていいのでしょうか。子どもを預けるときにかかる費用はどのくらいかかりますか?楽しい輪の中に障害が少しある子を預かってもらえるでしょうか?
- ・港区内にある「子育て支援」の施設が、どのような形で存在しているのか?登録制なのか?主婦たちの自然発生的なものか?港区の補助があるのかないのか。
- ・港区はやはりおしゃれだと感じました。

### 注目9

地域活動者に支援情報の詳細が十分には届いていないと感じさせられます。懇談会等の出会いが、日々情報交換しやすくなる契機となるとよいです。

## 子育て支援関係機関のみなさんより

### “つながりの輪をひろげるためにできること”に関する意見

- ・子育て支援は場所も大切だけど、人だと思えます。人と人がつながるために、つなぐ仕事が存在します。つなぐ仕事をコーディネートする役割の人はどこにいるのかという情報が必要です。
- ・区内の子育て関連施設は、こういうところでコーディネートされている?! 幼稚園・保育園・児童館・ひろば、それぞれの情報はたくさんあるけれど、まとめるのはむずかしい?
- ・親同士、子ども同士のコーディネーターとなることで、それを地域に広げていけるのだとあらためて思いました。
- ・幼児さんから、小・中学生となっていくにしたがって、まちのつながりがますます大切になります。幼児の時に人のつながりがしっかりつくれる人に親もなってほしい。
- ・さりげなく温かな関係のもてる場が大切だと思いましたが、お子さんを預かるとなると、かなり大きな責任が生じます。このところがどう保障されるかというところがむずかしいですね。
- ・いろいろなところでいろいろなグループが活動し、活躍しているなー!
- ・子育てサークルに入っている人が1割→どこで情報をキャッチするのか、人間関係を形成しなければならぬ。
- ・小児科医、母子手帳、マスコミ。地域の広報誌を使ってもっとPRするといいかも。
- ・町内会などもコミュニケーションの場として、使ってはいかが?
- ・子どもが小学生以上になって手が離れ、時間ができた母たちも、まきこんで、コミュニティが元気になればよいと思います。
- ・港区・都心で子育てをする人たちに子育て応援をしてくれる多くの団体、施設、人々がこんなに熱い思いでいらっしゃることを知り、とてもうれしく、心強さを感じています。保育士など専門の勉強や研究をしてこられた人たちだけではなく、子育て中の人々とも一緒に手をつないで、主体的に作ること、運営していくことがいかに大切であるか改めて感じています。
- ・子育て中のお母さん方がつながって欲しい。
- ・お母さんの社会参加のための仕組みとその援助。
- ・子育て仲間の支え合いをどう組織化するか。
- ・当事者が主体となってどんどん楽しんでもらいたい。
- ・地域の年齢も立場も様々な方たちがより充実した子育てが出来るよう活動し、仲間をひろげていることがわかりました。すごく思ったことは、皆が仲間に対して明るく接していること、前向きであることです。子育ては楽しいときもあれば、きつくてうまくいかないことが多いです。両方あって、親である大人も成長するのだと思います。
- ・子育て世代が主体的になり、「このような場を必要としている」を発信し、実際に自分達も関係機関と協力し、取り組みをされているのだと実感しました。寸劇は子育て広場のイメージがわき、伝わりやすいと感じました。地域で支える“子育て”を大事にしたいです。
- ・大都会の中でも年代を超えたつながり、関係をつくっていけたら、どんなに子どもたちもしあわせになれるだろう。
- ・保育のできる人がたくさん増えて地域の皆で子育てするようになるといいです。
- ・区内に行政と連携して子育て支援をしているたくさんの活動があることを知りました。ぜひ協力してやらせていただきたいです。
- ・情報交換や、協力をすることで、相乗効果が生まれたら素晴らしいことだと思います。
- ・様々な職種・立場の人が「いる」ことを「知る」ことが大切と感じました。
- ・コミュニケーションの大切さを知った。
- ・地域の子育て支援機関の(展開)輪が着実に広がっている。本当にコンビニの数みたいに身近にたくさんできることに期待。
- ・施設や子育てひろば保育者は真の意味で「おばちゃん度・おじちゃん度」をあげられるようスキルアップしなくてはならない。
- ・行政を担う一員としても財政的な裏付けなどの援助をはじめ、できることを発信していきたい。
- ・みなさんのニーズを反映して、充実させていきます。今日は、寸劇などで、私たち行政がねらっていることと、重なっていることがわかり、我が意を得たりと思いました。

#### 注目10

コーディネーターへの着目がいくつかあります。コーディネーターの必要とその周知・子育て支援関係機関としてコーディネーションの役割の意識化等々。

#### 注目11

子どもの年齢が上がるにつれて地域のつながりはますます大切との指摘。つながりが一朝一夕にはつくれないとすると、赤ちゃんが生まれた時からのつながりづくりは重要です。

#### 注目12

「子どもを預かることで生じる責任」地域の中でどう考えるか課題です。

#### 注目13

つながりへの具体策(小学生以上の子を持つ親・小児科医・母子手帳・地域広報誌・町内会等々)が挙がっています。

#### 注目14

子育て支援関係機関として、子育て当事者同士のつながりへの期待と共に、支援に関するコメントが見られます。



#### 注目15

情報交換+協力+コミュニケーション+「知る」こと = 相乗効果!!

#### 注目16

支援者として「おばちゃん度・おじちゃん度」を上げることへの着目です!

# ラウンドミーティングでは、さまざまな意見や感想ができました。

\*以下の意見や感想は、参加者が書かれた内容から抜粋しました。

## 子育て支援関係機関のみなさんより

### オープンスペースに関する意見・感想

- ・ 広場に出かけることができる人、出かけることもできない人、意識の差。
- ・ 気軽に出かけられないタイプのママが行ける場所にしてほしい。
- ・ 広場の利用マナーについて、コンビニ化への懸念。
- ・ オープンスペースが何力所もできることを願います。
- ・ いつでもだれでも、ちょっと行ける子育て広場(劇のような)があるといいですね。
- ・ オープンスペースならではの、子どもがいることでコミュニケーションを取れる。
- ・ コミュニティカフェなどの場があることを、もっと知る人が増えるといいなと思います。
- ・ 地域が主体のひろば実現。
- ・ いつでも気軽に立ち寄れる場所があちこちでできることは子育て中の親子にとってホッとできる場所。子育て中と卒業の方でもたまり場となしてほしいです。(異世代交流)
- ・ 参加する場所があるということは、きっかけとして重要。
- ・ みんなの居場所をみんなでつくる。きっかけとなる有意義な会です。
- ・ 地域に子育て中のお母さんが集まれるスペースがあることはステキ!
- ・ 港区の商店は大型のところが多く、おばちゃんちのようなスペースは難しいかも。

#### 注目17

支援の場に出かけにくい子育て当事者への着目です。皆で考えなければならない課題です。

#### 注目18

オープンスペースへの肯定的コメントが複数ある一方、「利用マナー」の指摘も見られます。

#### 注目19

他地区の事例のようにはいかないとの指摘です。港区でできることを考えなければならないです。

## 子育て支援関係機関のみなさんより

### 意見・感想いろいろ

- ・ 子育て支援に関わる人材(戦力)はどこまでか?
- ・ 行政は、利用者の立場で施設の設置と内容を見てください。
- ・ クレームを悲鳴と受け止めるあたかさを。
- ・ みんなの力が合わさるときっとすごいパワーとなるだろう。
- ・ 私の子育て時期には、子育て支援がもっとあたりまえになったらと思います。
- ・ いろいろな取り組みがあってすばらしいと思います。発展を祈ります。
- ・ 港区には多くの子育てのための施設があることに、また生まれていることに感心しました。そのことは、どのように区民に知らせているのでしょうか。
- ・ お母さま方の望んでいる支援はなんなのか?リサーチしながら活動を考えていきたい。
- ・ 自分も持っているスキル、保育園が蓄積している財産をどう地域で生かしてもらえるか考えたい。
- ・ 港区の方々の積極的な子育て支援の活動に驚いています。
- ・ 地域に子ども会のようなものはもうないのでしょうか?  
赤ちゃん→小学生。
- ・ 危機管理情報の共有。
- ・ 明学の先生はじめ、スタッフの方々ががんばって区内の若い母親たちの支援をしてくださっていることは、大変嬉しく思います。
- ・ 子育ては乳幼児期だけではなくありません。子どもの自立までの支援の仕組みを作るには。
- ・ 様々な立場の皆さまのお話が伺え、とても勉強になりました。今後に活用させていただきます。ありがとうございました。

## 子育て支援関係機関のみなさんより

### 懇談会に関する意見・感想いろいろ

- ・ Wa, Wa, Waのパワーはすごい!がんばれ!!
- ・ 去年に引き続き、劇では伝える力がある。
- ・ オープニングあり、寸劇ありの楽しい懇談会。
- ・ 懇談会が続いていることがうれしいです。
- ・ 懇談会でいろいろな情報交換ができるといいですね
- ・ 昨年より進歩している。
- ・ お声かけにより、会場もつくられつつあること、すばらしいことです。
- ・ とても楽しい劇を見ながら無理のないアットホームな子育て支援を感じられました。
- ・ Wa, Wa, Waのお母さんたちのエネルギーはすばらしい!



## その他のみなさんより

### “つながりの輪をひろげるためにできること”に関する意見

- ・育児出版社で事務をやっています。ふだんは、外出できないお母さんに自宅にお届けするを売りにしています。今日は、広いつながりの現状を知ることが世代をこえて、得意なことを未来を担う子どもの成長に生かして行くというのは素敵だと思います。
- ・ひとつの施設でできることは限られているので、連携をとることが大切なのだと思います。
- ・「お客様」として施設を利用するのではなく、地域を構成する一部として、同じ立場で、育児する者としての施設が必要ですね！
- ・一時保育のニーズが、高くなっているということで、ネットワークの構築の難しさを考えなければと思いました。
- ・育児を行っている母親や行政機関、積極的な交流が垣間見えた。
- ・取り組んでいるみなさんが共に「つながり」をあげておられたのが印象的でした。
- ・子育てをするだけでなく、子育てを支援し、関係をつくりあげていくことが求められている。
- ・Wa, Wa, Waみたいなつながりができれば、かなり人との関係が強くなってくると思いますが、その強い人との関係に新しい人が入ってくる時、大手をふって、軽やかにその人を迎え入れるかにかかっていると思います。
- ・ボランティアセンターとしての役割の整理を早急に行います。現在子育てサロン6、今春情報交換を行います。
- ・おばちゃんの響きがいい。世代間交流 福祉会館はやだ。育児サロン×高齢者サロン。
- ・ママ同士の口コミ、やりすぎないこと、家族へのフォロー、メーリングリストの活用、ネットの活用、目立つようによく、違う立場の人でも意見を交わして実行していくオープンな雰囲気、目黒区は改造費補助がある、制限・費用についてオープンでない→発信元も動く必要性、積極的な関わり、主体的な関わり、ミッドタウンなどキッズスペースが充実、商店街は不安
- ・子育て世代（ママ）のニーズ⇔あばば世代間のギャップをどうつなぐ？（リフレッシュのために預けると贅沢と思われたり、）→交流の場づくりがカギ？
- ・働いているママ&働いていないママ→もっとつながれないか？

#### 注目20

お客さんとしてではなく、「地域を構成する一員」としての施設利用への着目です。

#### 注目21

新たな仲間を共助の輪に迎え入れ、その輪をひろげていくことも課題です。

#### 注目22

異世代交流への肯定的なコメントがあった一方、その世代間ギャップをどうするかは課題です。また、親の立場の違いを超えたつながりづくりも課題があるということでしょう。

## その他のみなさんより

### 意見・感想いろいろ

- ・たくさんの支援の手があるのだなあ。身近が大切だと思った。
- ・派遣型の支援 大きな鍵を握っているのかなと思いました。
- ・保育園などから始まり、町内会までさまざまな団体が関わっているんだなと思いました。
- ・取り組みの中で生じてくる難しさも知りたいです。
- ・一概に育児支援施設といっても、種類も方向性（目標）もさまざまにあることを知った。
- ・すばらしい内容でした。行政・企業との連携も含め、トータルでの支援がより必要かと思えます。基本は当事者の主体性を前面に。
- ・地域のそれぞれの子育て支援の連携のありようについて、知りたいと思いました。
- ・地区の子育て関係者の方々の様々な取組が一度に聞けたので、とてもよかったです。
- ・想いのつながりを強く感じられた。
- ・子育てひろばが港区内にたくさんできたと実感しました。
- ・生の子育て支援の現状をきけた。今までプラスのイメージしかなかった子育て支援でしたが、マイナスの部分もたくさんあって、やっぱり子育てが大変な人もまだ多いと思った。支援する側も、一方的な支援になったり、相手と合わなくて、くいちがったりと、大変だと初めて知った。子育ては協力と相互理解が大切だと思った。

## その他のみなさんより

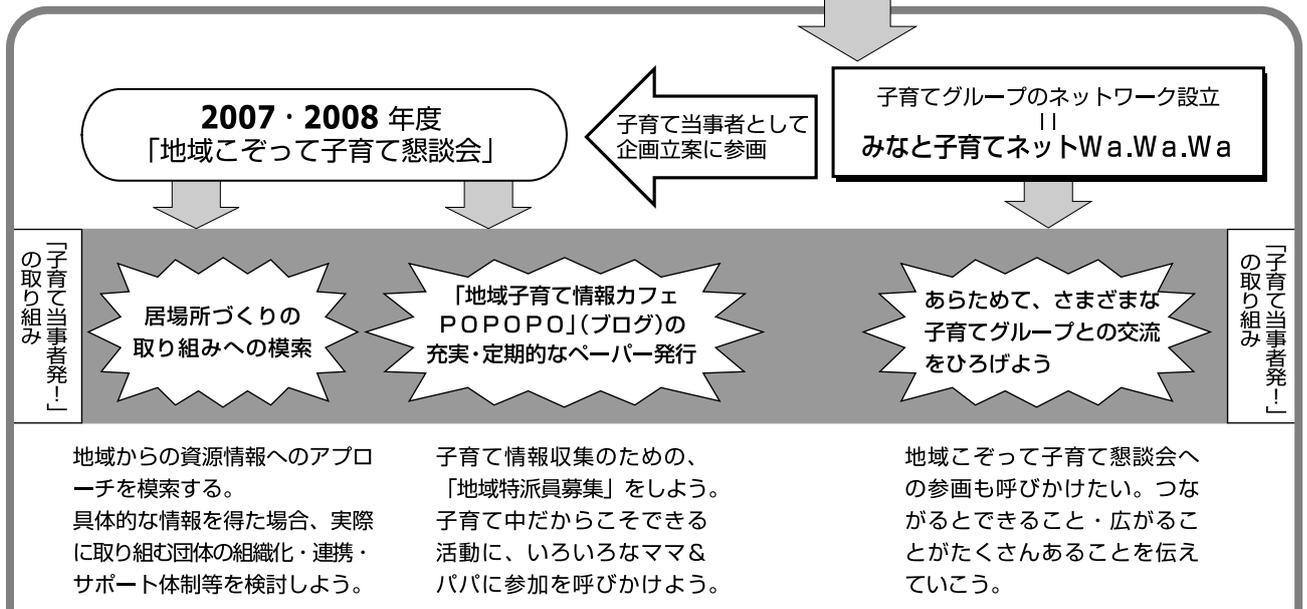
### オープンスペースに関する意見・感想

- ・寸劇にあったようなオープンスペースを利用した気軽に立ち寄れる子育て支援の場所がもっと増えたらよいなと思いました。
- ・オープンな空間が、地域の人たちと関わる場所として求められている。
- ・オープンなスペースが育児に求められていることがわかりました。
- ・サークルに参加している人は積極的、率は少ない。ただ広場だけの方が行きやすい。

# 来年度の ＜地域こぞって子育て懇談会に向けて＞ つながりの輪を、さらにさらにひろげるため

2005年度 市民講座（明治学院大学社会学部附属研究所主催）  
「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信～子育てをささえる地域創りとは～」

2006年度「地域こぞって子育て懇談会」



これまでの取り組みやこれからの取り組みをふまえ、  
来年度も、『子育て当事者発！』の、  
地域でつながりの輪をひろげるための課題提起をしていきたいです。

2009年度地域こぞって子育て懇談会

子育て・子育て環境向上のため、  
子育て当事者と子育て支援関係機関・地域活動者・  
NPO・企業その他の地域のみなさんとの  
つながりの輪をひろげられる場になれますように・・・

大学付設相談機関からの  
さまざまな課題提起。

主催：明治学院大学社会学部附属研究所

ひきつづき子育て当事者のみなさんの活動を応援していきたいです。さらに、地域の中のいろいろな親子のみなさんから、あらためて地域の中での子育てについて、さまざまなお話を聴かせてもらう機会をもちたいと思っています。

子育て家庭支援の立場からの  
さまざまな課題提起。

主催：港区立子ども家庭支援センター

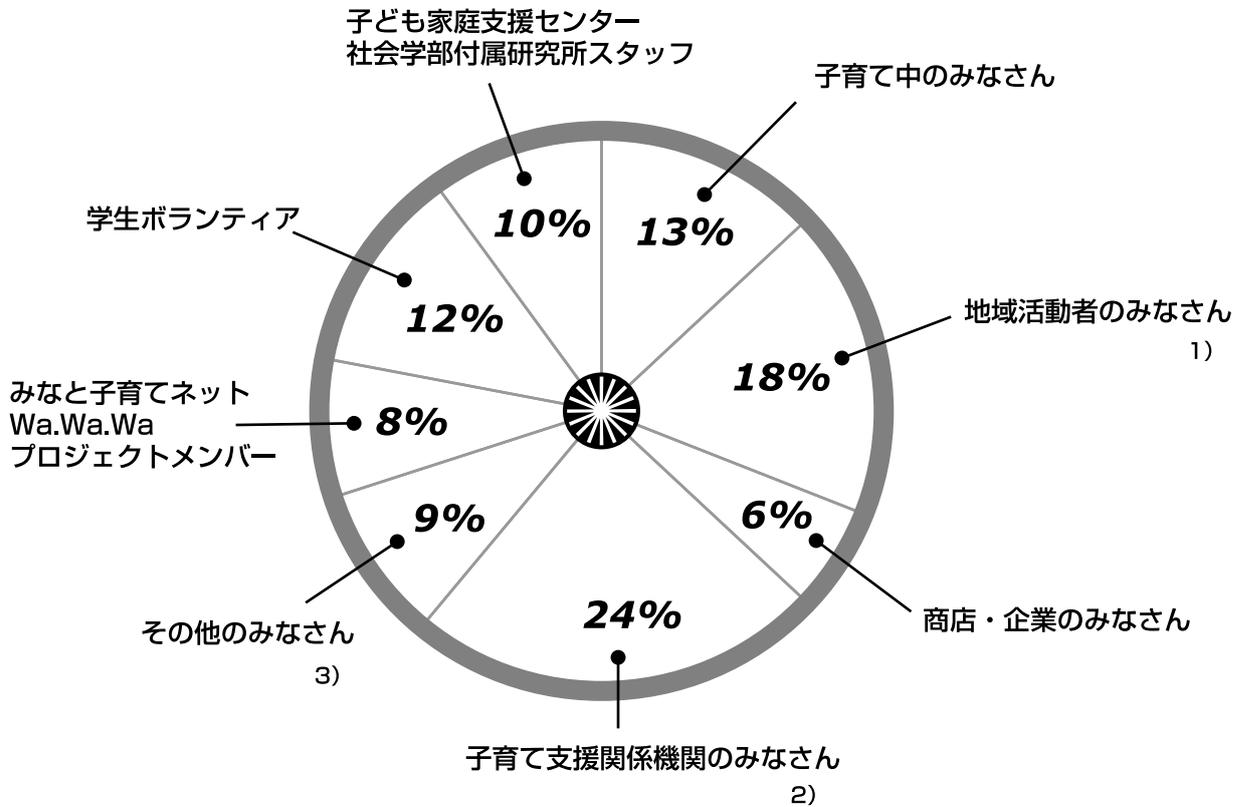
来年度は、新企画「（仮称）子育てグループ養成講座」を予定しています。これからも、子育て中にこそできる活動を応援していきます。

# 4



どんな人たちが  
参加してくれたのかしら？

# どんな人たちが参加してくれたのかしら？



- 1) 『地域活動者』のみなさんとは  
民生・児童委員、子育て支援NPO、子育て・家族支援者、子むすび協力員、子育てグループ
- 2) 『子育て支援関係機関』のみなさんとは  
児童館、保育園、幼稚園、子育てひろば事業者、放課GO事業者、助産院、子育て支援相談機関ほか
- 3) 『その他のみなさん』とは  
区議会議員、障害者団体関係者、ボランティアセンター、研究者、大学生ほか

## メッセージカードより

### 子育て中

※以下はメッセージカードにいただいた意見より抜粋しました。

応援・参加・協力できること

コーディネーターの役割

港区の子どもをとりまく人々の力強さ、サポート力を感  
じて感動しました。第1子で  
サークルをしていますが、  
第2子ができても楽しく子  
育てをできる様に運営を続  
けたいです。

応援・参加・協力できること

子育て中の立場からのアンケート協力

いろいろな年齢、立場の方  
が集まっていて、とても良  
い場だと思いました。子育  
て支援に関心がある事に母  
親としてとても心強く感じ  
ました。

## メッセージカードより

### 子育て中

※以下はメッセージカードにいただいた意見より抜粋しました。

育児歴2年9ヶ月ですが、地域に子育ての相談ができる人がなかなかみつからず、情報集めにも苦労してきました。今回参加し、いろいろな子育て支援があるのだとわかりました。私も何かのカタチで支援する立場に、いつかなれたらよいと思います。

応援・参加・協力できること  
子育て中の親の視点からブログへの地域情報発信。

行政に頼るだけでなく、子育て中の人がつながって実現できることがたくさんありそうだと思います。

応援・参加・協力できること  
託児の子どもたちに何かしてあげたい。

多くの方々やグループが、子育てに一生懸命取り組んでいることがわかり良かったです。一人では小さな力ですが、みんなの力が集まって協力できるとすばらしいです。

## メッセージカードより

### 地域活動者・NPO

※以下はメッセージカードにいただいた意見より抜粋しました。

困っている方から、どんなことをしてもらえたらなど聞く事も大事。劇はやらなくていい。どういうところで悩みをきいていくか。

応援・参加・協力できること  
公園などで親子にあいさつ・声かけし、話をするようになると、悩みや困り事について相談にのっている。

ひと口に子育て支援と言っても、養育者の「心身健康度」などに応じて、いろいろなレベル・アプローチのサービスが必要だと感じました。

若い親たちにとって、とても心強い支援体制ができていると思います。少子化の時代にあって、こんなにも大勢の待機児がいることは一寸おどろきです。これからも安心して預けられる体制を充実して欲しいと思います。

応援・参加・協力できること  
子育ての体験者として(障害児も含めて)いろいろな面で相談にのることができると思います。

## メッセージカードより

### 商店・企業

※以下はメッセージカードにいただいた意見より抜粋しました。

つながりの中で子育てをしていくこと、世代をこえて子育てに関わっていくことの大切さを知りました。

みなさんの進んでいく方向が劇でよく理解できました。私たちが進む方向と同じなので、ぜひ一緒にできればと思います。

応援・参加・協力できること  
子育てコミュニティスペースをCSR事業として自社運営しています。近隣ですのでご利用ください。

## メッセージ カードより

### 子育て支援関係機関

※以下はメッセージカードにいただいた  
意見より抜粋しました。

応援・参加・協力できること

できることなら何でも！

オープンスペースの要望が、単に「場所が欲しい」ではなく、3ステップで進化していく様子をえがいた劇は良かったです。ゼイタクか？と苦言(?)していた商店会長がすでに実践に動いていたことに感動しました。

支援者同士でしたがとても濃い話し合いができました。他施設の方とじっくり話せてとてもうれしいです。野沢先生の「地域は確かにつながりをもって存在している」というお話にうれしくなりました。学生、Wa.Wa.Waのみなさんのパワーもとても良かったです。いい事業になっていると思います。

応援・参加・協力できること

できることがあれば  
一緒に考えたい。

母親同士の情報交換ももちろんですが子育て支援側のフリートークをしてみたかったです。何人かの方には「見学させて下さいね」とお願いしましたが、こうした方々と個人的なレベルでつながり、信頼関係を築くことが「地域の力」ではないでしょうか。

皆さんの子育て支援の熱意に感激しました。今後も主体的に情報を流しつつ多くの方によるこんでいただける広場づくりに努めたいと思います。

4

新たなネットワークの形成過程が広がりつつあるのを感じました。

応援・参加・協力できること

利用者みなさんに  
様々な情報を  
提供しますので、  
パンフレット等  
送ってください。

応援・参加・協力できること

施設を単なる場所貸しではなく運営とニーズを合致させるための定期的な地域の方との協議会の発足をいち早く実現したいと思っています。意見・協力をいただき真の地域の拠点にしていければと思います。

「つながり」はほんとに必要な事だろうと思うけれど、出てこれないタイプのママも多いはず。その人達もつながるにはどうしたらいいのかと思いました。

5

点と点が面になる場だと感じました。つながりを太くしていくために、日々多忙ではあっても自己紹介の継続をしていけたらと思います。地域の人、企業、施設、多様なつながりを深めていきましょう。分断されない地域づくりを。

応援・参加・協力できること

小学生世代の  
子育てについて  
何か一緒に  
取り組める  
ことがあればよいな  
と思います。

様々な活動をお伺いでき、今後の運営のヒントも多くいただきました。

6

青山ライオンキッズクラブ

NP2008

おおきなき

ガーデニングの会

きしゃポッポ

クルボンズ

さこだ運動遊びクラブ

シティみなとネイチャーゲームの会

芝うさくらぶ

芝パンダクラブ

ちびっ子ナイト養成倶楽部

Den of Delight (デンオブディライト)

TOKYO MOTHERS GROUP

ハピネスママの会

ヒマラヤスギの会

Baby English☆Little Star

La. La. La.

わくわくキャリアアップ\*布絵本の会

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

# 5



## 子育てグループの活動紹介（港区内）

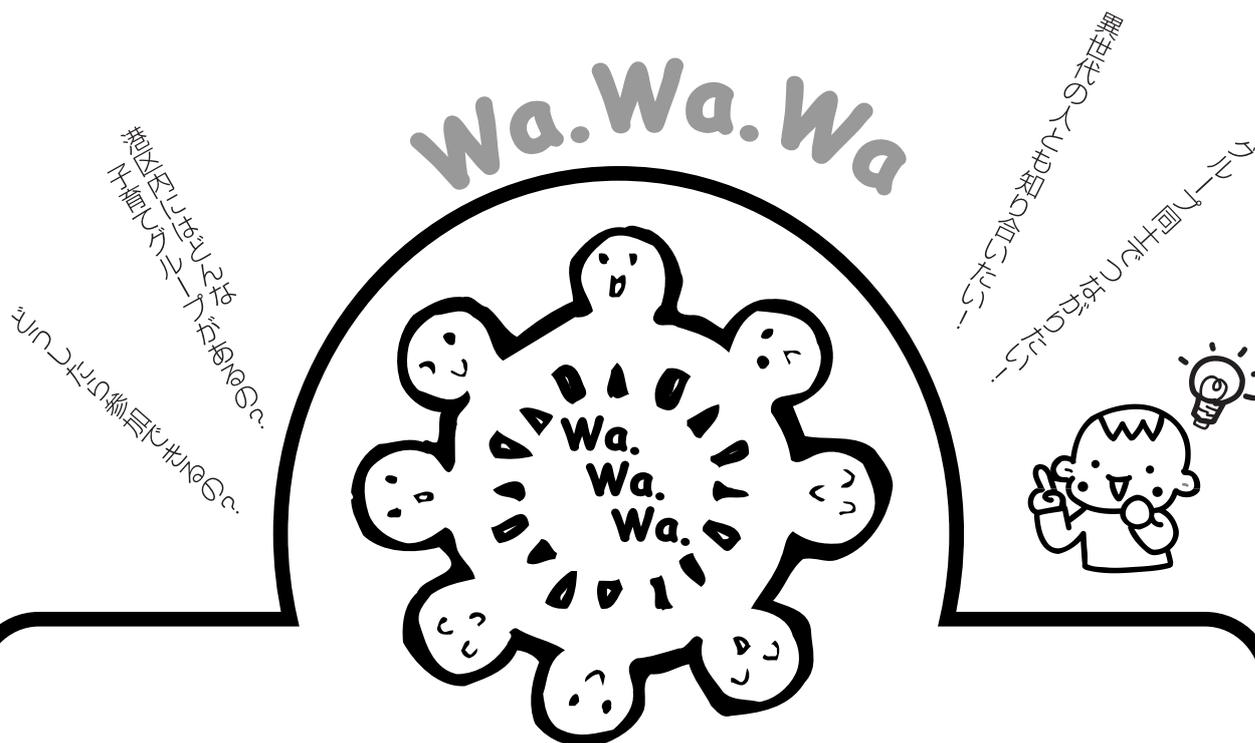
1

2

3

4

6



## みなと子育てネットWa.Wa.Wa

「子育てや、ママサークルなどの情報交換の場がほしい！」という想いのもと、2年前から子育て当事者グループのネットワーク作りを進めてきました。港区で自主的に活動している様々な子育て当事者グループの運営メンバーと、子育てをささえる地域創りに関心のある人々が、明治学院大学社会学部附属研究所に集り情報交換し、ブログやイベントを通して情報発信しています。

「子育てを支えあうことで、子育て中の家庭だけでなく、すべての人にとって暮らしやすい地域社会を実現する」という趣旨のもと、様々な人と出会い、つながりをもつ機会を作っていきたいと考えています。

目的

- 1) 子育てグループなどのネットワーキング
- 2) 子育てを応援するイベント企画と運営実施
- 3) 子育て環境向上のためのアクション

みなと子育てネットWa.Wa.Waはつながりの輪を広げたいと思っています。これからも子育て応援隊として、よりよい子育ての環境づくりを目指して活動していきます。

■連絡先／Fax.5423-0537（伊佐見）

■メール／minatoku3710@mail.goo.ne.jp

■ブログ／<http://blog.goo.ne.jp/minatoku3710>

## 青山ライオンキッズクラブ

読み聞かせ大好き、おしゃべり大好きな元気なおやこを応援します ^^

- 対象／0歳から未就園児
- 活動内容／読み聞かせを中心に、親子遊びや工作、子育てセミナーの開催や、ライオンキッズまつりなど・・・
- 活動場所／港区立青山児童館
- 活動日時／毎月第4金曜日 11:00~12:00ごろ
- 会費など／特にありません
- 連絡先／lion\_n@mail.goo.ne.jp
- その他／[http://blog.goo.ne.jp/lion\\_n/](http://blog.goo.ne.jp/lion_n/)



▲落ち葉で何ができるかな～



▲落ち葉アート完成



ノーバディズ パーフェクト

# NP2008

わたしたち「NP2008」は、1、2歳の子どもを持つママの会です。今年の5月頃、「Nobody's perfect～完璧な親はいない～」という6回連続のワークショップで、子育てのこと、自分のこと、夫婦のこと、など多岐に渡るテーマについてじっくり分かち合っているうちに、このメンバーで引き続き何かをやっていきたい、という気持ちが全員の中で膨らみ、会を結成することになりました。

活動は月2回。うち1回は「みなとキッズサポートセンター」にて、テーマに沿って自由に話しています。もう1回はお出掛け。いずれも子どもが周りでワフワフ言っていて、落ち着いた雰囲気からはかけ離れています。おもちゃの取り合いなんてしょっちゅう、人のお弁当がうらやましくて取っちゃう子、興味のある方へ走っていくから親も走り回っているなんてこともあります。仲間同士だから許容することも笑いとばすこともできます。

リーダーは毎月交代して、日時の設定、活動場所の予約、テーマの決定、会の進行を行います。

9月のテーマは「子どもの目から見た私って?」、お出掛けは西麻布でランチ（子供連れにもサービスがよく、立派な個室に通してくれる上、個室料もかからない。子連れにはとてもありがたい店）

10月のテーマは「子育て中も出来るエコ」、お出掛けは皇居の東御苑、季節が良かったので、一回追加して上野動物園にも。

11月のテーマは「食育」、お出掛けは大田区萩中公園（使わなくなった消防車やSL、トラック、船などが置かれていて、自由に乘ることができる。また公園内が教習所のようにっており、三輪車やゴーカートを借りて本物そっくりの道路を走ることができる）

12月のテーマは「叱り方」、お出掛けは世田谷区で行われるクリスマスコンサート（メンバーの一人であるママが所属しているコーラスグループのコンサートをみんなで見に行きました）

また10月のテーマ「子育て中も出来るエコ」から話が発展し、家にある不用品を持ち寄って物々交換をしました。それから11月のテーマ「食育」にヒントを得て、今後1回のペースで赤坂区民センターの調理室を借りて「子どもと一緒にクッキング」を実施する予定です。

強力なリーダーが引っ張っていくサークルも面白そうだけど、私たちは各々が交代でリーダーとなり、会を継続していくことを選択しました。毎回新しい人が会を進行するため、不慣れなことが多く、いつもみんなであたふたしていますが、「誰かに任せっきり、自分はお客様」ではなく、全員で問題を乗り切っていく、それがこの会の良さであると思っています。

会の結成から半年ほどしか経っておらず、いまのところ新しいメンバーをお迎えできる状態ではありません。ごめんなさい。子どもが大きくなり、この会も成熟してゆき、メンバー兼リーダーである私たちに自信もついてきたころ、この会を存続させてくれる新しいママたちを迎え入れ、徐々に引き継いでゆけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



1

2

3

4

グループ活動紹介

6

# おおきなき

いろんなこと話してスッキリしませんか！保育付き講座を企画します。

- 対象／特にありません
- 活動内容／子育てについて学ぶものやリラックスする内容など、いろいろな分野から講師を迎え、保育付きで座談会形式の講座(5月頃)の企画運営。様々なテーマで話し合える場ということで毎月一回「はなすかい」を主催しています。

●活動場所

明治学院大学 社会学部附属研究所

●活動日時

はなすかい 毎月第4金曜日 無料  
10:30~12:30

●連絡先

ookinakinotoko@yahoo.co.jp

おおきなき Q&A

●1 育児の悩み？  
お悩みを解決するためのヒントや、最新の育児・教育の情報を提供します。お気軽にご相談ください。

●2 子どもの発達？  
発達障害、学習障害などについて詳しく学びたい方、子どもの個性や発達に合わせた育て方を学びたい方、子育ての悩みを解決したい方、お気軽にご相談ください。

●3 育児の悩みを解決したい？  
育児の悩みを解決するためのヒントや、最新の育児・教育の情報を提供します。お気軽にご相談ください。

●4 子どもの発達？  
発達障害、学習障害などについて詳しく学びたい方、子どもの個性や発達に合わせた育て方を学びたい方、子育ての悩みを解決したい方、お気軽にご相談ください。

平成19年「おおきなき」の講座です。

子どもへの期待 親の愛情？ それともエゴ？

子育て支援センターや子育ての悩みを解決したい方、お気軽にご相談ください。

日付(曜)	時間	講師	会場
1 10/18(日)		石川 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所
2 10/25(日)	10:30	石川 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所
3 11/1(日)	10:30	石川 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所
4 11/8(日)	10:30	石川 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所

# ガーデニングの会

みなとキッズサポートセンターの庭でボランティアの多田さんを中心に花や野菜作りを楽しみましょう。

- 対象／0歳～3歳児までの親子
- 活動内容／みなとキッズサポートセンターの庭で季節の花や野菜作り  
ハーブの楽しみ方など
- 活動場所／みなとキッズサポートセンター
- 活動日時／季節の作業内容に応じて随時  
(予定はセンターのお知らせにて案内します)
- 会費など／無料
- 連絡先／03-3432-8341  
担当者：村中



▲季節の花や野菜作りをたのしみましょう

## きしゃっぽっぽ

本の読み聞かせを楽しみませんか

- 対象／本が好きな人、読むことが好きな人  
(会に入る人の意味です)
- 活動内容／子供達に本の楽しさ、お話しの面白さを伝えるために「お話し会」をしています。
- 活動場所／現在は図書館、幼稚園、児童館、保育園など
- 活動日時／要望に応じて開催しますので、午前又は午後になることもあります。
- 会費など／入会への年会費として年額2,500円。
- 連絡先／吉村紀子 03-3440-0371



▲明治学院大学社会学部付属研究所内のプレイルームにて



▲みんなよく聞いています



## クルポンス



<http://kurupons.blogspot.com/>

なりたち

母体は、港区立高輪幼稚園2006年度卒PTAのOB。  
『息子たちが(メンバー全員が男子のハハ)小学生になってせいせいしたぞ!なんかやろうぜ!』と、2007年に結成。

活動内容

練習は、本番が決まったらする。ミーティングは日常の井戸端にて。  
公演は、絵本のよみかせ・紙芝居・人形劇・歌と演奏・ゲームなどで、15~30分程度。

活動にあたっては、楽しいことを優先。教育的なことは考えない。  
子ども達のアイデアは、どんどんいたいて採用する方針。  
(だじゃれも参考になる。パパの親父ギャグとはキレがちがう。)

クルポンスのロゴは、瞑想1分のうち5秒で描かれた七歳児の作。流石子供。  
区内の幼稚園、児童館でぼちぼちと活動中。  
発表の場を広く募集中です!

今後の展望

公園にお散歩に出かけたら、そこにおもしろい格好をしたおばちゃんたちがいて、  
楽器をプカプカ鳴らし、クルクルッと歌いながら行進していた。  
ついて行ったら、おもしろいお話をしてくれた。なかなか良かった。  
・・・というような野外での『ゲリラ読み聞かせ』や、  
保育園などのおさんぽ先にまぢふせ(?)しておくような『ハプニング読み聞かせ』を構想しています。  
小学生による乳幼児への読み聞かせも企画したいです。

クルポンスへのご依頼は  
midorit@po1.dti2.ne.jp  
れんらくがかり:ミドボン



オープニング。今日も着地成功だ!



まほうで本を大きくする。全力でやります。



『わに』の歌。小道具は基本的に手作りしています。



真面目に読み聞かせをする(?)クルポンス。

# さこだ運動遊びクラブ

こんにちは。港区で体操教室や、リトミックを行っているさこだです。  
先生（講師）は、私で、お母さん達をアシスタントをお願いして、活動したりしています。

- 対象 / 0才～各クラスによります。  
\*大人向けの講習会も行います。
- 活動日時 / 月曜日（月2回）親子体操教室〔午前〕  
水曜日（年少、年中各月2回）幼児体操教室〔午後〕
- 活動場所 / おもに港区スポーツセンター
- 会費など / 月会費制ですが、1回1000円前後  
（他に維持費保険代1000円）
- 連絡先 / TEL/FAX 03-3471-8250  
裕田 栄（裕田児童体操研究所） sakae@di.pdx.ne.jp
- その他 / 食育関係や、子どもに自然の大切さや、環境教育面を伝えたく、日々勉強中です。



▲年中クラス

# シティみなとネイチャーゲーム

学ぼう生き物たちの生態

- 対象 / どなたでも。
- 活動内容 / 見る・聞く・触る・味わう・嗅ぐなど様々な感覚を使って  
自然を直接体験する活動です。
- 活動場所 / 三田台公園、芝公園など。
- 会費など / 入会への年会費として年額2,500円。
- 連絡先 / s.i-haru@docomo.ne.jp 伊佐見



パンフレットの一部

## 芝うさくらぶ

●メンバー／うさちゃんくらぶ(港区主催)で出会った芝地区の平成19年12月～平成20年2月生まれの親子が中心のサークルです。

現在新しいメンバーの募集はしていません。

●活動内容／親子ヨガ・ベビーサイン・ピクニック・ベビーダンス・ベビーイングリッシュ・リトミックなど子供の月齢に合わせたイベントを企画

●活動場所／みなとキッズサポートセンター、芝公園、児童館など

●活動日時／イベントごと、不定期

●会費など／イベントごと

●ブ ロ グ／<http://shibausa.exblog.jp/> (メンバーのみ公開)

●メッセージ／「児童館に遊びに行くけど、一緒にいきませんか？」

と気軽に多くの人に声かけられたらいいなあと思い、携帯メールのメーリングリストを作ったところから始まりました。

赤ちゃんがいるけど外にも遊びに行きたいし他のママともお話したい。そんな場所ときっかけを提供したいと思いイベントの企画もスタート。

赤ちゃん&ママのお教室っていろいろあるみたいだけど、賃料が高い港区には、

なかなかないし、あっても高い。だったら区の施設を借りて、先生を招いて、

リーズナブルに開こう！と子供の月齢に合わせていろいろなクラスを企画開催してきました。

メンバーは募集していませんが、私たちのサークルのことを知って同じようにサークルができたと聞いてうれしく思っています。サークルを作るのはそんなに大変ではないですよ。もっと多くのママさんサークルができて笑顔の親子が増えることを願っています。



▲ベビーサイン



▲青空のんきヨガ

## 芝パンダクラブ

赤ちゃんの笑顔がママにとって1番なのと同じようにママの笑顔も赤ちゃんにとって1番

●対 象／港区在住のママさん (H20年2月以降に生まれたお子さんを持つ親子)

●活動内容／ベビーサイン・ヨガ・ベビーマッサージ・ベビーダンス・リトミック・ピクニックなど親子で楽しめるイベント

●活動場所／みなとキッズサポートセンター2階 地域活動室

●活動日時／イベントごと 不定期

●会費など／イベントごとにより異なる1回1000円～2000円

●連 絡 先／[shibapandaclub@yahoo.co.jp](mailto:shibapandaclub@yahoo.co.jp)

●そ の 他／芝パンダクラブは20年2月生まれの子を持つママが運営しているサークルです。

区の施設を無償で借りている為、近隣のスタジオやお教室よりも

参加費がリーズナブルなのが特徴です。もちろん講師の方はすべてプロフェッショナルな講師をお招きして開催しています。ママさん友達を作りたい方、外に出て気分転換してみたい方、子育てを思う存分楽しみたい方など気軽にご参加いただけます。

イベントの情報や情報配信をご希望の方は芝パンダクラブのブログをご覧ください。尚、芝パンダクラブは子育てをしながらボランティアの一環として活動しております。その点をご理解いただいたうえでご参加くださいますようお願いいたします。

ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/shibapandaclub>



▲ベビーサイン

## ちびっ子ナイト養成倶楽部

どうせ子育てするなら振り返って、あの頃は大変だったけどとっても充実して楽しかったなと思える時代にしたいという思いから、子育て真っ最中のママを中心に発足したのが『ちびっ子ナイト養成倶楽部』です。我が子をナイト(紳士)にレディ(淑女)にをコンセプトにサービスの提供ではなく子供も親も楽しめる場、時間を作る活動をしています！

- 対象／子育て中の親子(子供向けの企画は未就学児向けの内容です)
- 活動内容／昨年は戦いごっこを安全に楽しくやろう『チャンバラ』  
皆と一緒にテーブルマナーやお箸を覚えよう『お弁当パーティー』  
おもいっきり絵の具や粘土をやろう『アトリエ』  
ママ向けにはエアロビクス、ヨガ、ボクササイズなどのエクササイズ等を行いました。  
今年は好評だったアトリエとママ向けエクササイズの継続また新しく会員の皆様のやりたいことを皆で実現していこうと企画しております。
- 活動場所／『アトリエ』…男女平等参画センター  
水曜日(月2回)15時～17時  
『エクササイズ』…明治学院大学 社会学部附属研究所  
プレイルーム月一回(不定期)  
10時～11時(子供連れで参加できます)  
他不定期。詳しくはHPに掲載しております。
- 年会費／一家族200円各イベントによって会費は違いますが、すべて1000円以下です。
- 連絡先／事務局アドレス [chibinaiyouseiclub@yahoo.co.jp](mailto:chibinaiyouseiclub@yahoo.co.jp)  
又は下記のHPの「作者にメール」からアクセス出来ます。  
<http://k.fc2.com/cgi-bin/hp.cgi/chibiko-club/>



▲ママたちのボクササイズ



▲子どもたちのチャンバラ教室

## Den of Delight (デン オブ デイライト)

ゴスペルをみんなで楽しく歌ってます。子育て中のストレスも大きな声で歌うとスッキリしますよ～！メンバー大募集中です。一緒に歌いましょう。

- 対象／子育て中のママ中心に活動中です。
- 活動内容／講師の先生との月3回の練習と、イベントへの参加が主な活動です。
- 活動場所／新橋児童館、リーブラなどで練習しています。
- 活動日時／主に平日10時～12時
- 会費／入会金1000円  
会費1レッスン500円(講師の先生への謝礼として)
- 連絡先／[nico.nico.527@ezweb.ne.jp](mailto:nico.nico.527@ezweb.ne.jp) (小西)  
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/karimero-marimero/>  
よろしくお願いま～す



▲芝地区ふれあいまつりに参加

## TOKYO MOTHERS GROUP

TOKYO MOTHERS GROUP (東京マザーズグループ、略称「TMG」)は、東京に在住する子育て中の母親が集まった会員制ボランティアグループとして、会員相互による子育ての援助活動を行うことを通して、情報のやりとりを促進するためのネットワークづくり、東京での生活及び育児を支援することを目的としているグループです。国籍等の制限はありませんが、我々の活動は英語で行われているため、英語が可能な方を対象にしています。なお、会費はありません。

TMGは、以下のような活動を行っています。

- マザーズプレイグループ：毎月第1第3水曜日、随時指定の場所と時間にて行なう。
- セミナー：約4ヶ月に1度、随時指定の場所と時間にて行なう。セミナーでは、東京で妊娠・出産・育児についての情報提供が行なわれる。
- 会報の発行：月に約2回発行し、TMGの活動報告や東京の生活情報など、TMG会員への情報提供や会員同士の情報交換の場とする。主な内容としては、TMGの活動予定&各種イベント開催のお知らせ、会員の生活・育児情報の交換、各種体験談、育児用品のリサイクル、ホームページ上の情報交流活動の紹介等がある。
- 随時イベント：2ヶ月に約1度、新会員歓迎会やクリスマスパーティーなどの随時イベントを随時指定の場所と時間にて行なう。



詳細や入会について、我々のホームページ[www.tokyomothergroup.com](http://www.tokyomothergroup.com)をご覧ください。

## ハピネスママの会

綺麗なママでいるために、ヨガで心も体もリフレッシュしましょう

- 対象／子供を持つママ
- 活動内容／ヨガ（講師の先生を呼んでいます）
- 活動場所／みなとキッズサポートセンター2階  
地域活動室
- 活動日時／月1～2回
- 会費など／1回800円～1000円
- 連絡先／代表：松田 090-2886-1484  
[happiness-m@h.vodafone.ne.jp](mailto:happiness-m@h.vodafone.ne.jp)  
(パソコンからは拒否設定しております)
- その他／現在代表が産休中のため、  
次回の活動は2009年4月～を予定しております。



▲ヨガでリフレッシュ



▲子どもと一緒に

## ヒマラヤスギの会

### 港区立御田小学校PTAヒマラヤスギの会 昔かたぎの情熱で 地域と子供を愛するオヤジたち

御田小PTAの通称「オヤジの会」です。校庭で児童を見守る学校のシンボルの樹が名前の由来です。オヤジたちの職業それぞれの得意分野を生かし、自分の時間をちょっとだけ使って、あるときはハイテクなITを駆使して悩み、またあるときは体を使い汗まみれになることもあります。でもそんなことも子どもたちの喜ぶ顔がわれわれを「ハッピー」にしてくれます。

一人ひとりいろいろなアイデアを出し合い「子どものため」を合言葉に日々活動しています。活動内容は学校イベントのサポートだったり、各種スポーツ大会の企画、運動会のビデオ撮影をはじめとする各学校行事の記録（アーカイブ部門）、です。

そしていま最も力を入れて取り組んでいるのが「青色防犯パトロール」通称アオパトです。実はこの車、個人所有の車なんですヨ。オーナーの許可をもらってこんなに派手にしちゃっていますが・・・今では毎朝子どもを見守っています。

パトロールするときいつも心がけているのは みんなに挨拶をすることです。子どもたちからは元気な挨拶が返ってきます。掃除をしている方、犬の散歩中の方にも挨拶しています。

最近通勤の大人とまで挨拶できるようになりました。「この活動も自分たちの町の価値を高めてるな」と私たちは信じています。じつはこの活動、許可申請が通ればあなたの車で出来るんですヨ。皆さんも「挨拶運動」いかがですか？

必要なのは子どもや地域を愛する気持ちとあなたの少しの時間です。



ダンボールで  
プラネタリウムを  
作っちゃいました

## Baby English ☆ Little Star

### 親子で楽しく英語に触れ合いましょう

- 対象／1～2歳児の親子
- 活動内容／英語の歌や手遊び、絵本などを使って親子で楽しく英語に親しむことを目的にしたサークルです。子どもに英語を教えていた経験を生かして、季節のイベントなども盛り込んだレッスンをしています。
- 活動場所／みなとキッズサポートセンター 2階 地域活動室
- 活動日時／月1回 毎月最終土曜日 11:00～12:00
- 会費など／入会金500円 活動費1回500円
- 連絡先／

babyenglish2007-littlestar@yahoo.co.jp (坂本)



▲ハロウィンで～す



▲英語の絵本の読み聞かせ

# La.La.La.

## 一緒に楽しく

- 対象／子どもを持つ親、または親子
- 活動内容／①料理講座 親子クッキング  
②遠足・農作業体験
- 活動場所／リーブラ4階調理室・ほか
- 活動日時／月一回不定期 10時から12時
- 会費など／材料費など実費
- 連絡先／lalala-blooms@googlegroupus.com



ホカホカ  
肉まんの出来上がり



▲がんばってつくるぞ～



▲いただきます～す

## わくわくキャリアアップ\*布絵本の会

2006年11月～12月に行われた講座「子育て中こそキャリアアップ」から生まれたグループです。子育て中のママ、ワーキング マザー、それぞれのキャリアアップをめざそうという会です。現在は布絵本作りをしながら子育ての情報交換・交流 をしています。毎月2回開催しています。どなたでも参加OKです。一度、遊びにきてみませんか？

- 対象／子育て中のママ&パパ  
手作り絵本に関心のある地域の方
- 活動内容／手作り絵本・布おもちゃの製作、  
パネルシアター、  
木の手作り積み木講座の開催
- 活動場所／みなとキッズサポートセンター2階  
地域活動室
- 活動日時／毎月2回  
(不定期なのでお問い合わせください)
- 会費など／材料費のみ
- 連絡先／080-5496-9909 (西田)  
wakuwaku201@aol.com (影田)



▲手作り布絵本

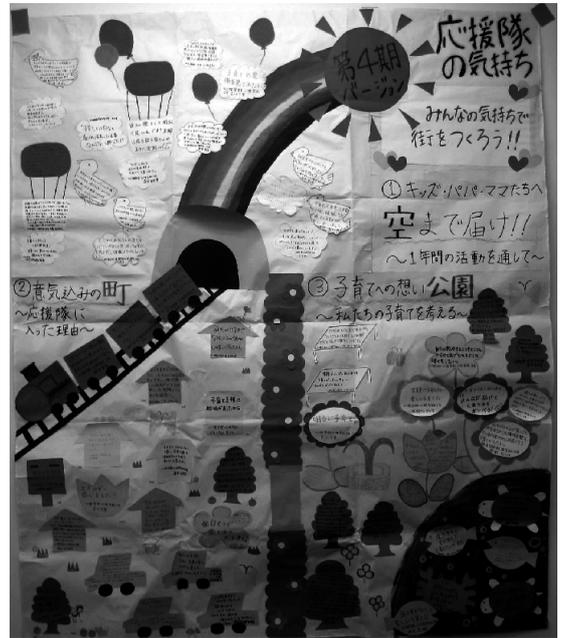
## めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊とは・・・

社会学部附属研究所が募集した学生ボランティアたちです。さまざまな学年、学科で構成されており、子どもと関わるのが好きな人や子育てに関心がある人が集まっています。今期の新たな活動としては、「赤ちゃんのぬくもりを広めようプロジェクト」と題し、赤ちゃんとのふれあいを通して、学生に子育てについて考えてもらおうと、赤ちゃん抱っこ会を企画しました。

また、学生の子育てに関する意識調査を行いました。(P50)そして、昨年に引き続き、お母さん方と共に港区の区民まつりに参加しました。私たちが出店した的あてゲームにもたくさん子どもたちが来てくれて、大成功で終わることができました。

毎回お母さん方からパワーをもらい、子どもたちの笑顔に癒されながら、みんなで力を合わせて楽しく活動しています。



応援隊メンバーが懇談会当日に向けて制作した掲示物「応援隊の気持ち」です。この中に以下①～③のメッセージが書かれています。

### ①キッズ&パパ・ママたちへ～1年間の活動を通して～

皆さん優しくて、明るくて良い人です！主婦になるなら皆さんのようになりたい！  
只野麻美 社会学科 2年

とても元気なお母様方だなあと感じました。イメージしていたのはもっと子育てにマイナスをもっている母親像でした。でも実際はそういったお母様方ではなくとても明るくてステキなママだったので驚きました。私も将来、母になったらキッズ&ママ・パパのような人になりたいです。  
西内裕紀 心理学科 3年

とにかくみなさん元気とパワーがあると感じました。学生も負けずに頑張りたいと思いました。  
関根なつみ 経済学科 4年

パパ、ママの子どもたちに対する深い愛情を感じることができました。一つの命を一生背負い育てる親という存在は偉大です！！  
小林さおり 社会福祉学科 3年

子育ての実際を見てみたい！  
吉川万里 心理学科 2年

まず、外の世界にアプローチをしているママがいたことが、かっこいいと思った。昔のように地域を巻き込んで子育てをする環境が必要だと強く感じた。  
鈴木真希 心理学科 2年

パワフルな親御さん！自分の両親への感謝！  
山田純平 心理学科 3年

ママさんたちがキレイで、子ども達に負けないくらいパワフル！！そんなママさん達にいつも憧れています。  
浅野黎子 心理学科 4年

キッズと接して小さい子は本当にかわいいと思いました。  
森谷有佳里 心理学科 3年

地域の中で子育てすることや、ママ友たちの素敵さを感じました。  
桜井恵美子 心理学科 3年

「子育て」とは自分も育てられ、成長している事なんだなと感じた！！  
白井亜沙美 社会福祉学科 3年

子育てって本当に大変だけど、頑張った分が返ってくるものがあると思いました。  
坪野松聡美 心理学科 2年

子育てに対してとても前向き！子育ては思っている以上に深いものだな・・・  
磯貝裕美 心理学科 2年

子どももママ・パパもお互いが大好きっていうのを感じました。  
田中奈穂 心理学科 2年

お母さんは本当にパワフルで頼りになるなあと感じました！みんなの声が形になって発信されるのを見ると、小さな一歩が本当に大切なんだと思います。  
渡邊愛祈 心理学科 3年

パワーを感じました。自分の住んでいる地域を、環境をよくしたい！！って頑張るお母さんたちを見て、私もっ！！って思えました。フットワークも軽くてまさにお手本です！ステキです！みんながみんなキラキラしてると感じました。こんな環境の中でつくり上げていく先のゴールがとても楽しみです。本当によかったです。私もステキな学生になっていきたいです。  
岩永春香 心理学科 1年

キッズはやっぱりいつも笑顔で可愛かったです！！ママさん&パパさんはどの方も子どもたちを本当に大事にしているというのがわかり、子育ては大変なこともあるはずなのにそれを全然感じさせないくらいとても明るいな、と感じました。  
橋川梓 心理学科 2年

お母さん達のパワーに刺激を受けました。気持ちを伝えよう、思いを形にしようとして周りに働きかけていくことの大切さを、お母さん達の活動から学びました。一緒に活動することができて、本当に良かったと思っています。とても楽しく、元気をもらいました。子ども達はみんな本当にかわいかった。一緒に遊べて幸せでした。  
白鳥絵梨奈 心理学科 4年

ママ達の「より良い地域にしたい」という思いがすごく伝わりました。キッズにもたくさんパワーをもらいました！！  
中田真由佳 社会福祉学科 3年

## ② 意気込み～応援隊に入った理由～

2年生になり、新しい事をはじめたいと思ったから。また、子どもが好きだから。  
鈴木真希 心理学科 2年

私は紹介されて入ることになりました。純粹に子どもが好きで、ふれ合えるようなボランティアを探していたところでした。初めのうちはプレイルームで子どもと遊ぶものなのかな…と思っていたら、実はすごいところだったんですね。どうしよう…とまで思っていました。何とかなるものです！それでも、今のこの環境は幸せです。  
岩永春香 心理学科 1年

子どもたちだけではなく、パパ・ママとの交流の中で子育てに関する新しい発見ができたかと思ひ、応援隊に入りました。  
小林さおり 社会福祉学科 3年

小さな子どもとふれあいたい！子育てをしているパパ・ママはどんな喜び、悩みを持っているの？を知りたい！  
磯貝裕美 心理学科 2年

自分でもできる何かをしたかったから。  
坪野松聡美 心理学科 2年

子どもが好きで、学校内なので参加しやすいと思ったから。  
白井亜沙美 社会福祉学科 3年

学内にあるので通いやすいから。キッズ・ママ・パパとのふれあいを通して学ぶことがたくさんあると思ったので☆  
中田真由佳 社会福祉学科 3年

いろんな人たちと関わってみたかったからです。  
田中奈穂 心理学科 2年

やっぱり子どもが好きだから！一緒に騒いで癒されてます！！  
山田純平 心理学科 3年

子どもと一緒に遊びながら、子どもを身近に感じたいと思ったからです。  
桜井恵美子 心理学科 3年

子どもが大好きなのと、子育て中のママさん達ともお話がしたかったから。  
浅野黎子 心理学科 4年

エネルギーを感じました！  
吉川万里 心理学科 2年

面白そうで楽しそうだったから！先輩もこぞってメンバーの人もとても良い人だし！  
只野麻美 社会学科 2年

子どもと接したかったから。一人暮らしなので近くに子どもと接する場所がなかったから。  
中澤デリア 社会学科 2年

子どもが好きというもあっただけで、「子育て支援」ということをあまり考えたことがなかったので、これを機に考えてみようかと思ひ応援隊に入りました。  
橋川 梓 心理学科 2年

子どもとふれあいたいと思ひ、交流を通して住みやすい地域を考えたいと思ったから。  
森谷有佳里 心理学科 3年

子育て支援に興味があったから。  
渡辺愛祈 心理学科 3年

まず一番に子どもが大好きだったからです。そして、子育て支援活動の大切さを授業で感じ、自分のできることをしたいと思ったことがきっかけです。また、みんなで活動していくことに魅力を感じました。  
白鳥絵梨奈 心理学科 4年

地域のコミュニティーがなくなってきていると言われてる今、どのような子育てが行われているのか現状や問題点を知りたかったから。  
関根なつみ 経済学科 4年

私が応援隊に入ったのは・・・子どもと接したい！子育てしているお母様方の力になれば！と思ひ入りました。実際はあまりできてないけど・・・  
西内裕紀 心理学科 3年

## ③ 子育てへの想い～私たちの子育てを考える～

いつも一緒にいて同じことを感じ合っていきたい。  
白井亜沙美 社会福祉学科 3年

たくさんギュッと抱きしめて、大好きだよっていっぱい伝えていきたいです。ダメなことはダメとしっかり怒って、良いところはたくさん誉めて、のびのびと育てていきたいです。また、たくさんの人との交流の中で、育って行って欲しいなと思ひ、機会を作っていきたいです。  
白鳥絵梨奈 心理学科 4年

子どもがのびのび育つことができるような環境を整え、その中で健やかに成長できる子育てがしたい。  
関根なつみ 経済学科 4年

家庭内だけで育てるのではなく、たくさんの人に協力してもらって、楽しみながら子どもを育てたいです。  
桜井恵美子 心理学科 3年

無理がなく、楽しい子育て！！  
田中奈穂 心理学科 2年

自分の熱中することをとことんやらせてあげられるような子育てをしたい。  
鈴木真希 心理学科 2年

笑顔が絶えない楽しい子育て！！  
坪野松聡美 心理学科 2年

子育ては楽しいだけではなく、大変なこともあるけど、それに負けたくないくらい明るくて楽しい子育てをしたいです！！  
橋川 梓 心理学科 2年

子どもと自分が一緒に成長できるような子育て。  
中澤デリア 社会学科 2年

笑顔がいっぱいあふれてる子育てがしたいな～キッズもパパも私も。  
浅野黎子 心理学科 4年

子育てしたくないかも・・・でもみんなが助けしてくれるならガンバる！  
只野麻美 社会学科 2年

地域との関わりがある場所で自由にのびのびとした育児をしたい。  
森谷有佳里 心理学科 3年

元気いっぱいパワーあふれる子育てをしたい。  
中田真由佳 社会福祉学科 3年

のびのびと子どものやりたいことには自由に挑戦させて温かく見守りたいです。  
渡辺愛祈 心理学科 3年

大変だけど楽しい！と思えるような子育てがしたい！人と人のネットワークのある子育てがしたい。  
磯貝裕美 心理学科 2年

①ちゃんとしかれてほめられる子育て。  
②適度に手を抜く子育て。③地域の方にも育ててもらえるような子育て。  
応援隊として参加させて頂く中で、大切さがわかりました。一番できなさそうだけど理想な子育て像です。  
西内裕紀 心理学科 3年

のびのび！！生き生き！！すくすく！！と育てたいです。  
小林さおり 社会福祉学科 3年

明るい子育て。  
吉川万里 心理学科 2年

正直言うと、私は結婚もせず子どもも作らず一生を終えるつもりで、子育てについてリアルに感じることはありませんでした。それでも子どもとふれ合い、子育てについて考えていくうちに、研究所に来ているような子どもがほしいなあと、こんな子になってほしいなあと感じるが増えました。今では「健康」「元気」「優しさ」と、月並みですが、こんな子どもになるよう育てたい。とにかく私が小学生だった時のように外で遊ばせたい！”人対人”でふれあうことを知っている、太陽みたいな子になるように自由に大自然の中を走らせる、野性的な子育てがしたいです(笑)  
「自由にたのしく」あってくれればきっと毎日笑顔で生きていけるでしょう。  
岩永春香 心理学科 1年

1

2

3

4

グループ活動紹介

6

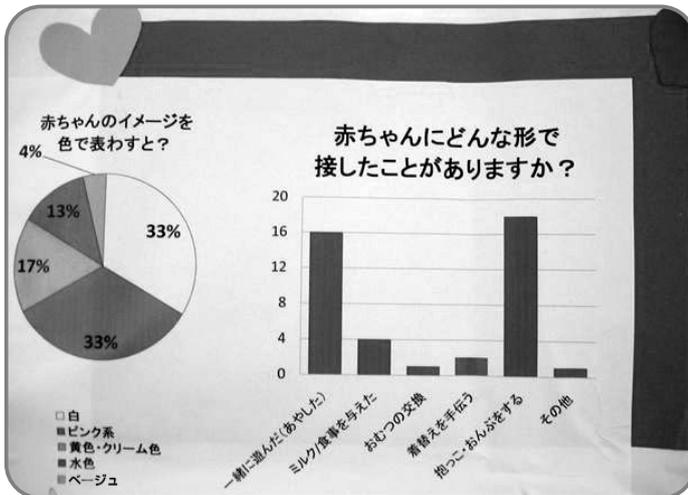
## 学生の子育てに関する意識調査 ～応援隊に聞きました～

調査グラフ制作：めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

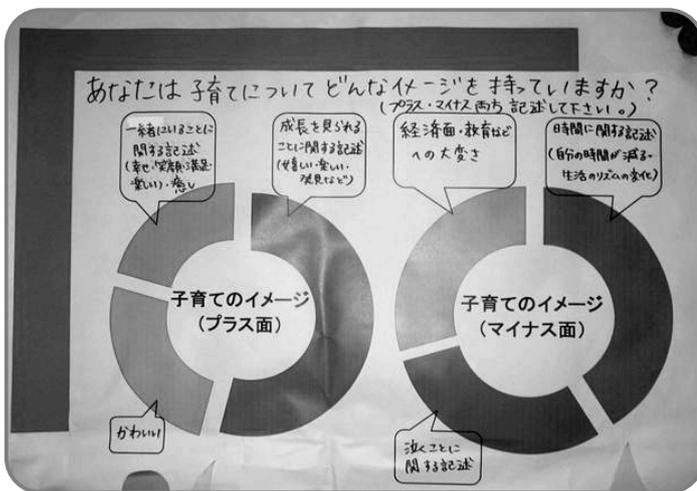
### 赤ちゃんのイメージを色で表わすと？

理由としては・・・

白→どんな色にも染まれるから、純粋だから  
 ピンク系→ほんわかしている、やさしい、柔らかいイメージ  
 黄色・クリーム系→赤ちゃん用品に多いから、柔らかい色だから  
 水色→可愛らしいから  
 ベージュ→人の温かみを感じられる色だから  
 というものが多くありました。



赤ちゃんと接したことがあるメンバーにどんな形で接しましたか？と質問したところ、「抱っこ・おんぶをする」が一番多く、「一緒に遊んだ(あやした)」が次に多くあげられました。ミルク・食事を与えた、おむつ交換など、お世話をした経験のある学生は少なかったです。また、思っていたよりも、赤ちゃんと接した経験がある学生が多かったことが印象的でした。赤ちゃんとの関係としては、「いとこ」という回答や、「親戚」という回答がほとんどでした。



### 子育てについてのプラスイメージは・・・

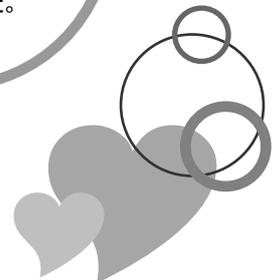
子どもの成長を見たり感じたりすることができ、それが楽しい・嬉しいというものが一番多く回答されました。次に、子どもがかわいいというものも多く回答され、一緒にいるだけで幸せになれるそう・満足・笑顔に癒されるという回答を得ました。(自由記述で答えてもらいました。)

### 子育てについてのマイナスイメージは・・・

自分の時間が減ってしまう・生活のリズムを変えなくてはならなくなると大変など、「時間」に関する記述が一番多くありました。次に、夜泣きが大変そう・泣かれてしまうと焦って当たってしまうかもなど「泣き」に関する記述、子どもを育てていく上で、必要なお金が大変そう・教育やお世話などの大変さなどが記述され、共に多かったです。



懇談会当日、応援隊の1年間の活動を紹介するため、左記「活動アルバム」も掲示しました。



# 6



## スタッフ感想

## みなと子育てネット Wa.Wa.Wa

### 伊佐見節子

担当：司会、寸劇シナリオ  
地道な活動をコツコツと継続することで、人の輪が広がり、メンバーのチームワークもアップしていきました。  
会を重ねるごとにバージョンアップした姿をお見せできたらと取り組んできました。いろいろな支えに感謝！  
当日会場に足を運んでくださった皆様に感謝！またお会いする日を楽しみにしています。

### 伴マリア

担当：おばちゃんち報告、寸劇  
去年は参加者として、今年は主催者としてたずさわらせていただいて、より地域を身近に感じることができました。  
またいろいろな立場の方々の話を聞いたり接することにより子育て当事者としてだけではない視点から"子育て"について考える機会にも恵まれ、とても有意義でした。  
みなさまありがとうございました。

### 浅野梨子

担当：総合司会  
司会はプログラムを一つ一つ紹介していく役目。  
この1年間、皆さんと準備をしてきたことを思い出しながら、司会をしていました。  
応援隊として最初で最後のこぞって懇談会に司会という大役をさせていただけて、すごく嬉しかったです。

### 中鉢康子

地域こぞって子育て懇談会も回を重ねる度にリピーターで参加される方も増え、とても嬉しかったです。  
いろいろな意見が活発に飛び交い、充実した会になりました。課題はありますが、できる事から少しずつやっていければと思います。  
次回の懇談会よりもパワーアップして、より多くの皆さんに参加していただけるようにより良い内容を考えていきたいです。

### 関根章代

1年ぶりの参加でしたが、確実につながりの輪が広がってきていますね。  
区の子育て支援政策で子育てひろばは増えて、次なるものはネットワークの充実等ソフト面の充実だと思います。求めるものがレベルアップしていていると思います。  
行政サイドの参加者、実際の支援機関の代表がかなりの人数集まってすごいと思いました。応援隊の学生さんの参加も多く、学生ならではの意見も聴けてとてもよかったですと思います。  
大学とのコラボがとても伝わってきました。細々としたブログも充実できるように頑張ります！！

### 只野麻美

担当：寸劇参加、掲示物作成の手伝い  
感想(自分だから書けそうな感想にしてみました)～  
私は野沢先生の授業で最近の家族の状況・問題を学びましたが、それらは文献上での話だったため、あまり実感がありませんでしたが、今回参加してみてその現状を実感することができました。とても貴重な体験ができたと思います。

### 宇山真紀子

担当：寸劇・差し入れ係 報告・IT講座感想  
こぞって懇談会が回を重ね、リピーターになってくれる方がいるというのがとても嬉しかったです。続けるってすごいことだとおもいました。

### 桜井恵美子

担当：資料配布、誘導などのサポート的な役割  
当日は、寸劇や報告や最後のグループごとの話し合いで見たこと聞いたことに感動しました。  
みんなが、みんなの子どもを自分の子どものように守って遊んでくれることと、自分の子育てで友達の輪が広がることは、子育てをとっても明るくて楽しくしてくれる！と感じることができました。参加できてよかったです。ありがとうございました(^\_^\*)

### 大西麻子

貴重な時間をやりくりして当日の準備をしてくださったみなさんに感謝しています。  
またこぞって懇談会に昨年もきてくださった方で、今年も参加してくださった方が何人もいたことがとても嬉しかったです。

### 佐々木洋子

前回からの流れもきちんと答えを出し、未来への心構えについても大変まともできちんとして提案できていて、みなさん忙しいなかよくまとめたなあと感じました。  
子育てカフェの希望的コンセプトはかなり伝わったので、ぜひ具体的にできれば嬉しいなあと思いました。  
結局私個人としては会議もまったく参加できなかったのですが、当日ただただおーと感心していただけなのですがo(^-^)^o  
いろいろな方が来ていましたが、もっともっと子育て中の母親に参加してもらえるといいなあと思いました。  
いろいろの方々の努力が上手く現場に反映されれば全体としてもレベルアップできるし、団体も随分沢山ありますが、なかなか情報がいきわたっていないのがもったいないと思うので、POPOPOには今後いろいろな意味で期待しております！

### 橋川 梓

担当：寸劇においての一言(?)や会場案内、ラウンドミーティングでの司会  
私は今年初めてこぞって子育て懇談会に出席したが、今回出席して本当によかったと思う。  
私は今まで子育て支援について『支援される側』の視点でしかあまり考えてこなかったが、今回ラウンドミーティングで『支援する側』の方のお話を聞いたことによりそちらの視点も獲得することができた。  
子育て支援は、どちらか一方的なものではなく、相互が協力することによって初めて成り立つのだと思った。  
他にも子育て支援について学んだことがあったので、来年もぜひ参加したい。

### 廣田千秋

担当：司会、寸劇 昨年に引き続きモコモコ  
いろいろな力が集結して懇談会を作り上げ当日を迎え、終了後、参加者の方々がにこやかに帰る姿を見て充実感があふれました。  
人との出会いを結び付ける懇談会は開くことに意義があるのだと思いました。協力してくださった方々に感謝いたします。  
もう少し子育て当事者が懇談会に参加してもらえるような広報と、欲しい情報をストレートに届けられるような方法を考えたいと思いました。

## 明治学院大学 社会学部附属研究所

### 森谷有佳里

担当：話し合いの参加（後半はなかなかできませんでした）  
異世代の方と交流することができたことで視野が広がりました。  
子育てに関して新たな面を知ることができ、課題も多いことを実感しました。応援隊として参加できたこととても嬉しかったです。

### 白鳥絵梨奈

担当：寸劇→新米ママ役 会場設営&ラウンドミーティングの際のお手伝い  
今年も寸劇に出ることができ、嬉しかったです。  
みんなで一つのものを作りあげていくことは、本当に素敵な事だなあと改めて感じました！  
思いを伝えようとすることや、人との繋がりを広め大切にすることで、生活は楽しく輝いていくのだと思います♪  
もう卒業ですが、これからも、応援していきたいです(\*^\_^\*)  
ありがとうございました！！

### 岩永春香

担当：寸劇のナレーションとディスカッションに参加しました。  
こんなに大勢の方が子育て支援に関心があるということ、さらに普段では出会えないような上部の方々の真剣なまなざしも感じることができ、うれしい気持ちでいっぱいでした。  
誰もが思い描く理想の絵があるのに、なかなか実現できない壁というものを感じることがもありましたが、それでも「変えたい！」というママさん方のパワーは本当に偉大だと感じる1日でした。

### 野沢慎司

担当（行ったこと）：閉会の挨拶を一言だけ、させていただきます。  
初めて参加しましたが、3年目を迎えるこの懇談会の成熟を感じました。  
この1年間、社会調査実習の授業の一環として学生たちと一緒に港区の子育ての現実を学んだ経験からも、区内に様々なネットワークが根を拡げていることを実感します。  
当日参加させていただいた実習履修生たちにとっても貴重な学びの機会となりました。  
当研究所は今後も「地域こぞって子育て懇談会」のさらなる発展に力を注ぎたいと思います。

### 杉山佳子

担当：グループ討議に参加しました。  
年々姿を変えて成長する「地域こぞって子育て懇談会」の様子に当事者参加のパワーを感じました。  
寸劇は昨年同様にとっても楽しく拝見しましたが、登場する人たちのセリフを通して、子育てをするお母さんたちの切実な思いを感じる事が出来ました。  
私のグループには民生委員の方や学生がいましたが、活発な意見に時間が足りないほどでした。高齢者のためのオープンスペースの必要性も語られ、次への成長の手がかりも見つけられそうです。

### 濱田智恵美

担当：全体企画進行、機材担当  
開催までの1年間、昨年度の懇談会での課題を皆で追いかけてきたらどりついたのが、「繋がり」でした。一番根っここの“想い”を皆で再確認できた、大切な1年だったと感じています。

### 平野幸子

担当：全体企画進行、あちこちの見回りと撮影  
当日までかけ足だったようにも思うけど、ふり返ってみればいろいろなことをやり、さまざまなことを考えました。  
昨年の出会いが繋がっていることを実感でき、先へ続いていく予感もすこし感じることができました（うれしい！）。  
私もいつかできるかな〜とか、つながるとできることがあるんだ、...という、子育て中の参加者の方のメッセージカードに残されたコメントにわくわくしました。

## 港区立子ども 家庭支援センター

### 川上真二

担当：当日は、主催者としての立場のほか、子育て支援関係機関としてのスピーチ、そして、我が人生において久しぶり（幼稚園以来？）の寸劇にも脇役で出演しました。  
これまで地域こぞって子育て懇談会を重ねて作り上げてきた、地域でみんなで子育てをするために必要なもの（こと）のイメージが、今回の懇談会では寸劇として具体的に見えるようになりました。今後はそれを実現するための準備期間とも言えます。  
新たな取り組みには課題は付き物ですが、それを皆さんと共に乗り越えていきたいと思っています。

### 奥村直人

担当：照明係をしました。タイミングズレまくりのスポットライトとなってしまい、ごめんなさい。  
機械室では、残念ながら音声は届かないのですが、皆さんの熱演と懇談会に対する意気込みの方は、ビシビシと伝わってきました。  
皆さんの想いと日々の努力が積み重ねることによって、様々な立場の人たちが集える大事なイベントになるということがわかりました。

### 村中紀子

担当：みんなで集えるスペース作りをシュミレーションする寸劇に参加させていただきました。  
世代間交流のイメージを膨らませることができました。  
壁に張り出されたグループ紹介の数が多いことにびっくりしました。グループが増えたことはこの会を継続してきたことの成果と思われれます。  
子育てを通して手をつなぐ親同士や地域の方々の協力で、住みやすい地域づくりに歩みだした感をますます深めました。



# 所 感

一昨年の7月、みなと子育てネットWa.Wa.Waのメンバーに初めてお会いした時、「港区の子育て環境をよくしたい！」という皆さんの熱い思いに圧倒されたことを思い出します。2007年度の懇談会では、みなと子育てネットWa.Wa.Waは3つの提案を表明しました。この3つの提案を具体化するために話し合いを重ね、時には研究所から飛び出し、先進的な事例からの学びや、区内で誕生した新たな活動との出会いを求め、様々な場所を訪れました。

しかしながら、子育て期間に焦点をあてた活動を、その当事者たちが担うことの困難さに直面しつつ、私たち研究所のソーシャルワーカーは、その活動やメンバーたちをどのように支えていけばよいのか、試行錯誤を繰り返した1年だったように思います。

この1年の歩みは、決して劇的でドラマティックなものではなかったかもしれませんが、でも、「子育てがしやすい街づくりのために一番大切なこと・・・それは世代を超えた人と人とのつながりをつくること」を、懇談会の企画に携わったメンバーみんなが確認できたことを新たな出発点とし、これからも点を線に、線を面に大きく成長させていく取り組みを応援できたらと思っています。

明治学院大学社会学部附属研究所  
ソーシャルワーカー 濱田 智恵美

地域こぞって子育て懇談会のある企画会議の折、子ども家庭支援センタースタッフからもたらされた情報に、みなと子育てネットWa.Wa.Waメンバーからどよめきが起こったことがありました。それは、昨今保健所主催の第1子をもつママの集まりへの申込者が多数で抽選に漏れる方が出るほど～という情報でした。センターの方は、なぜそんなに驚くのかを計りかねていましたが、メンバーにすれば、初めての赤ちゃんを授かった後、少しずつ外へ出てみようかという時期、同じくらの赤ちゃんをもつママに出会える貴重な場に行かない人があるなんて！そりゃあタイヘンだ！そういうどよめきでした。

今自身の子どもは学童になったメンバーから、赤ちゃんの時のことは忘れちゃった…という言葉も聞かれますが、このどよめきが、このメンバーの活動の原動力なのかもしれないと感じさせられる一コマでした。だから、子連れで一生懸命に外へ出てグループの世話役も買って出たのでしよう。自らの助け合い体験を原動力とするメンバーは、自助から共助へと、よりよい地域創りの活動へと歩を進めているように思います。

寸劇で描かれた居場所は、皆が皆がんばって外へ出て行かれる人ばかりではありませんから、がんばらなくても人と人が程よくつながれる場をイメージしようとしていたと思います。共助を担いつつあるメンバーが、ひとりぼっちの子育てはしたくないと自ら助け合おうとする、あとへ続く人たちの背中をやさしく押して、共助を担う仲間として共につながることがさらに望まれていると思います。

子育てにやさしい街づくりを主体的に担っていきましょう、というこの輪のひろがりによって、ひとりぼっちで子育てしている人がこの地域にはいなくなるように願い、私たちができる関わりをこの先も模索していきたいと思っています。

明治学院大学社会学部附属研究所  
ソーシャルワーカー 平野 幸子

#### 編集後記

コメントをじっくり読みながら、統一感のあるレイアウトを考えました。みなさまの想いによりよいものを作ろうと、平野さんには無理を言いました。ありがとうございました。  
(廣田)

#### 企画：みなと子育てネットWa. Wa. Wa

「地域こそって子育て懇談会」プロジェクトメンバー

代表：伊佐見節子（シティみなとネイチャーゲームの会）

宇山真紀子（L a. L a. L a.）

伴 マリア（みなと子育てネットWa. Wa. Wa）

大西 麻子（青山ライオンキッズクラブ）

佐々木洋子（ちびっ子ナイト養成倶楽部）

関根 章代（みなと子育てネットWa. Wa. Wa）

中鉢 康子（L a. L a. L a.）

廣田 千秋（おおきなき）

#### 協力：めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊メンバー（登録28名）

浅野黎子・磯貝裕美・岩永春香・小坏沙也香

小林さおり・桜井恵美子・白井亜沙美・白鳥絵梨奈

鈴木琴美・鈴木真希・関根なつみ・高野小百合

高橋美帆・只野麻美・田中菜穂・坪野松聡美

中澤デリア・中田真由佳・西内裕紀・野中宏美

橋川梓・旗山貴大・松島早紀・森谷有佳里

山田純平・幸尚子・吉川万里・渡辺愛祈（五十音順）

#### 主催：明治学院大学社会学部附属研究所

所長／野沢慎司

相談・研究部門

教員／北川清一(主任) 大瀧敦子 杉山佳子

ソーシャルワーカー／平野幸子 濱田智恵美

#### 主催：港区立子ども家庭支援センター

所長／川上真二

奥村直人

村中紀子

## 港区地域こそって子育て懇談会 報告書

「みんなで聞こう・いっしょに話そう ～つながりの輪をひろげたいなあ～」

2009年3月30日発行

編集 明治学院大学社会学部附属研究所・みなと子育てネットWa.Wa.Wa

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

TEL03-5421-5204/5205 FAX03-5421-5205

Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

発行 港区立子ども家庭支援センター

〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-20

TEL03-3432-8341 FAX03-3432-8344

刊行物発行番号 20209-4711

